

大和インベスター・リレーションズ

個人投資家向け会社説明会

～福岡開催～ 会社説明資料

2024年11月30日

証券コード：3107



ダイワホールディングス株式会社

1. 会社概要
2. 通期業績見通し
3. 中間決算と業績推移
4. 当社事業の強みと戦略
5. 中長期ビジョン『2030VISION』
6. 株主還元



ダイワボウホールディングス 会社概要

ダイワボウホールディングス株式会社



本社所在地

〒530-0005 大阪市北区中之島3丁目2番4号
中之島フェスティバルタワー・ウエスト

設立日

大和紡績として創立 1941年4月1日
ダイワボウホールディングス設立 2009年7月1日

連結従業員数

2,867名（2024年3月末現在）

資本金

216億9,674万4,900円

株式

東証プライム市場 証券コード **3107** / 業種：**卸売業** <JPX日経インデックス400構成銘柄>



代表取締役社長
西村 幸浩

事業内容

ITインフラ流通事業

[中核会社] **DIS** ダイワボウ情報システム株式会社

コンピュータ・周辺機器・ソフトウェアの販売
および物流サービス業
コンピュータ機器等の導入・保守・修理サービス業

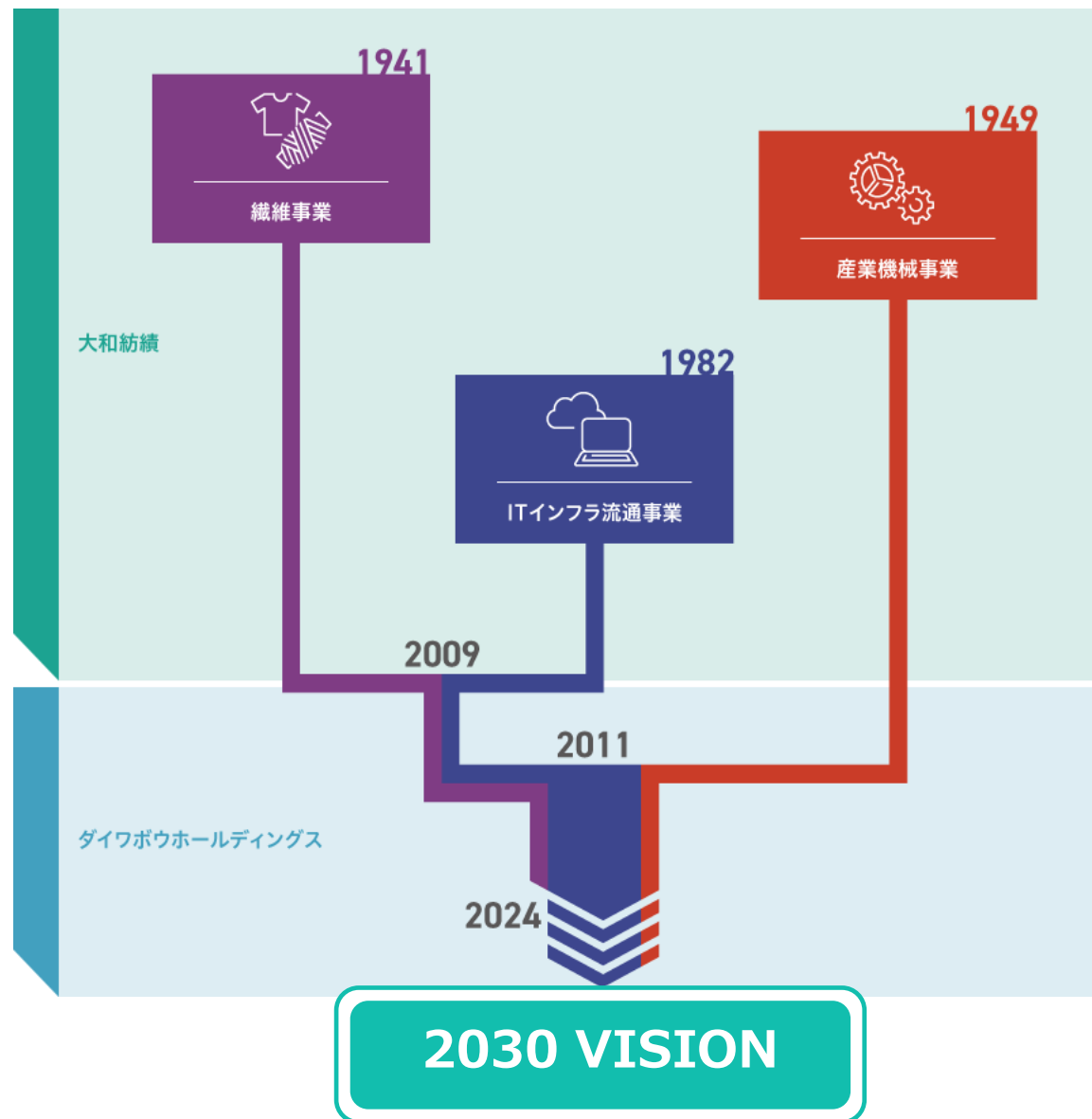
産業機械事業

[中核会社]  株式会社 **オーエム製作所**

工作機械、自動機械および鋳物製品の製造販売業

※大和紡績株式会社は2024年 3月 27日に独立いたしました。
(発行済株式の85%を株式会社アスパラントグループへ譲渡)

グループの沿革



- 1941年 大和紡績 発足
- 1949年 穴道工場分離 大和機械工業 設立
- 1960年 大阪機械製作所と合併 オーエム製作所設立
- 1982年 ダイワボウ情報システム 設立
- 2009年 大和紡績とダイワボウ情報システム 経営統合
ダイワボウホールディングス(株)へ商号変更
- 2011年 オーエム製作所と経営統合 3事業体制へ
- 2024年 大和紡績の独立、『2030 VISION』発表

繊維事業の独立について

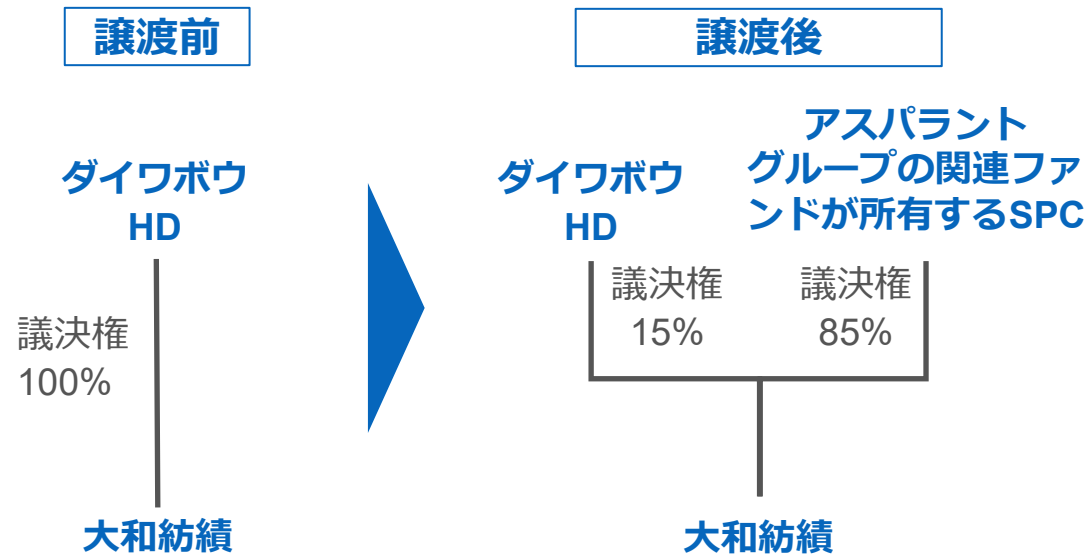
2023年 5月15日 : 事業ポートフォリオ（繊維事業独立化）検討体制について公表
2023年11月22日 : 大和紡績の株式85%についてアスパラントグループへの譲渡を決議
2024年 3月27日 : 株式譲渡が完了

大和紡績株式譲渡の概要

大和紡績の 事業概要	■ 繊維製品の製造・加工・販売 ■ 事業会社の株式保有による事業活動の支配管理
連結財務概要* (2023年3月)	■ 売上高 : 627億円 ■ 営業利益 : 13億円 ■ 総資産 : 631億円 ■ 純資産 : 325億円
譲渡先	■ 株式会社アスパラントグループSPC11号 (アスパラントグループ株式会社が発行済株式の全てを所有するSPC。譲渡時には、アスパラントグループの関連ファンドが100%所有予定)
譲渡価格	■ 91.8億円（株式価値108.0億円の85%相当額） ■ 譲渡価格は企業価値248億円をベースに運転資本、有利子負債、その他の資産・負債等に加え、アスパラントグループが大和紡績の持続的成長を実現するために拠出する予定である設備投資額を考慮した金額
譲渡完了時期	■ 3月27日

* 外部会計監査を経た連結財務諸表を作成していないため、大和紡績にて管理している連結ベースでの財務数値を参考値として記載

譲渡後の資本構成



大和紡績の既存取引先や従業員といったステークホルダーとの一定の関係性を維持しつつ、スムーズな移行を目的とした協力関係維持期間として、**当面の間は大和紡績の議決権15%の所有を継続予定**

事業セグメントの概要



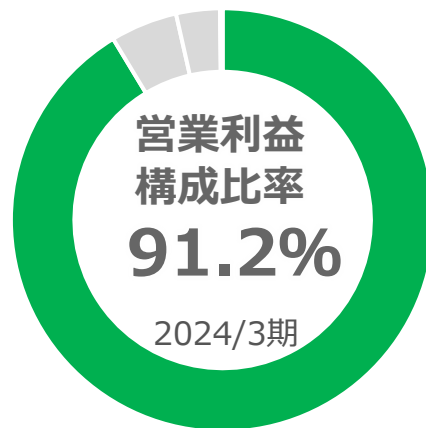
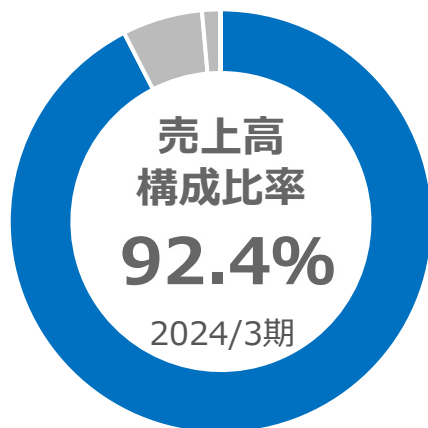
ダイワボウホールディングス株式会社

ダイワボウグループの持株会社として、グループ全体の成長戦略の立案とそれを推進するための経営資源の配分を担い、将来に向けて持続的に発展できる経営体制を築いています。

ITインフラ流通事業

【中核事業会社】

DIS ダイワボウ情報システム株式会社

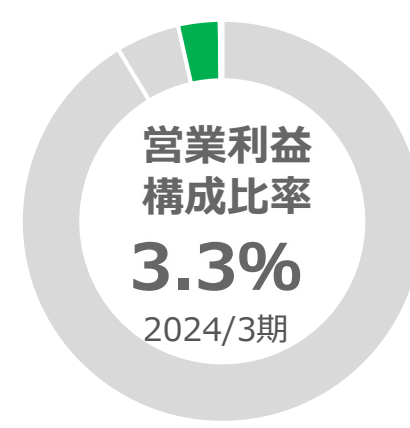
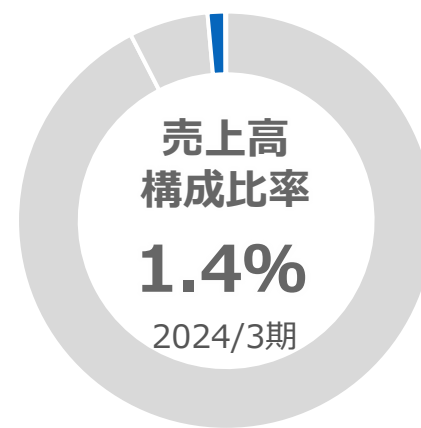


産業機械事業

【中核事業会社】



株式会社 オーエム製作所



| 2025年3月期 通期業績見通し

2025年3月期 通期業績予想



(百万円)	2024/3 (実績)		2025/3						増減額 ③-②	増減額 ③-前期	前期比	
			①期初予想 (5/9開示)		②修正予想 (8/2開示)		③修正予想 (11/6開示)					
売上高	967,760		975,000		1,012,350		1,123,500			+111,150	+155,739	+16.1%
ITインフラ流通	894,693		962,650		1,000,000		1,111,100			+111,100	+216,406	+24.2%
産業機械	13,213		12,350		12,350		12,400			+50	△813	△6.2%
繊維	59,210		—		—		—			—	△59,210	—
営業利益	30,963 3.2%		31,100 3.2%		31,100 3.1%		33,000 2.9%			+1,900	+2,036	+6.6%
ITインフラ流通	28,244 3.2%		30,200 3.1%		30,320 3.0%		32,320 2.9%			+2,000	+4,075	+14.4%
産業機械	1,032 7.8%		900 7.3%		780 6.3%		680 5.5%			△100	△352	△34.1%
繊維	1,580 2.7%		—		—		—			—	△1,580	—
経常利益	31,431 3.2%		31,500 3.2%		31,500 3.1%		33,400 3.0%			+1,900	+1,968	+6.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,283 0.4%		21,800 2.2%		21,800 2.2%		23,000 2.0%			+1,200	+18,716	+437.0%

2025年3月期 下期業績予想



(百万円)	2024/3 (実績)		2025/3						増減額 ③-②	増減額 ③-前期	前期比
			①期初予想 (5/9開示)		②修正予想 (8/2開示)		③修正予想 (11/6開示)				
売上高	521,842		524,500		536,850		606,116		+ 69,266	+ 84,274	+ 16.1%
ITインフラ流通	485,456		518,150		530,500		600,046		+ 69,546	+ 114,590	+ 23.6%
産業機械	6,533		6,350		6,350		6,070		△279	△462	△7.1%
繊維	29,530		—		—		—		—	△29,530	—
営業利益	18,188	3.5%	18,080	3.4%	18,080	3.4%	19,477	3.2%	+ 1,397	+ 1,288	+ 7.1%
ITインフラ流通	16,668	3.4%	17,615	3.4%	17,615	3.3%	19,149	3.2%	+ 1,534	+ 2,480	+ 14.9%
産業機械	511	7.8%	465	7.3%	465	7.3%	331	5.5%	△133	△179	△35.1%
繊維	960	3.3%	—		—		—		—	△960	—
経常利益	18,516	3.5%	18,280	3.5%	18,280	3.4%	19,560	3.2%	+ 1,280	+ 1,044	+ 5.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	△4,243	△0.8%	12,700	2.4%	12,700	2.4%	13,525	2.2%	+ 825	+ 17,769	—

| 2025年3月期 第2四半期決算と業績推移

2025年3月期 第2四半期（中間期）（2024年4月1日～2024年9月30日）

国内IT需要の拡大を捉え上期として最高売上高を更新
営業利益は3期連続の増益

業績

ITインフラ流通事業

- Windows更新需要が高まり、PC販売台数は前期比で大幅に増加
- iKAZUCHI(雷)はエンドユーザー契約件数の伸長等により、上期の目標取扱高を達成
- 企業・官公庁・文教向けいずれも好調に推移し増収増益

産業機械事業

- 工作機械部門での製品納入が順調に進み、事業全体での売上高は計画通り進捗

見通し

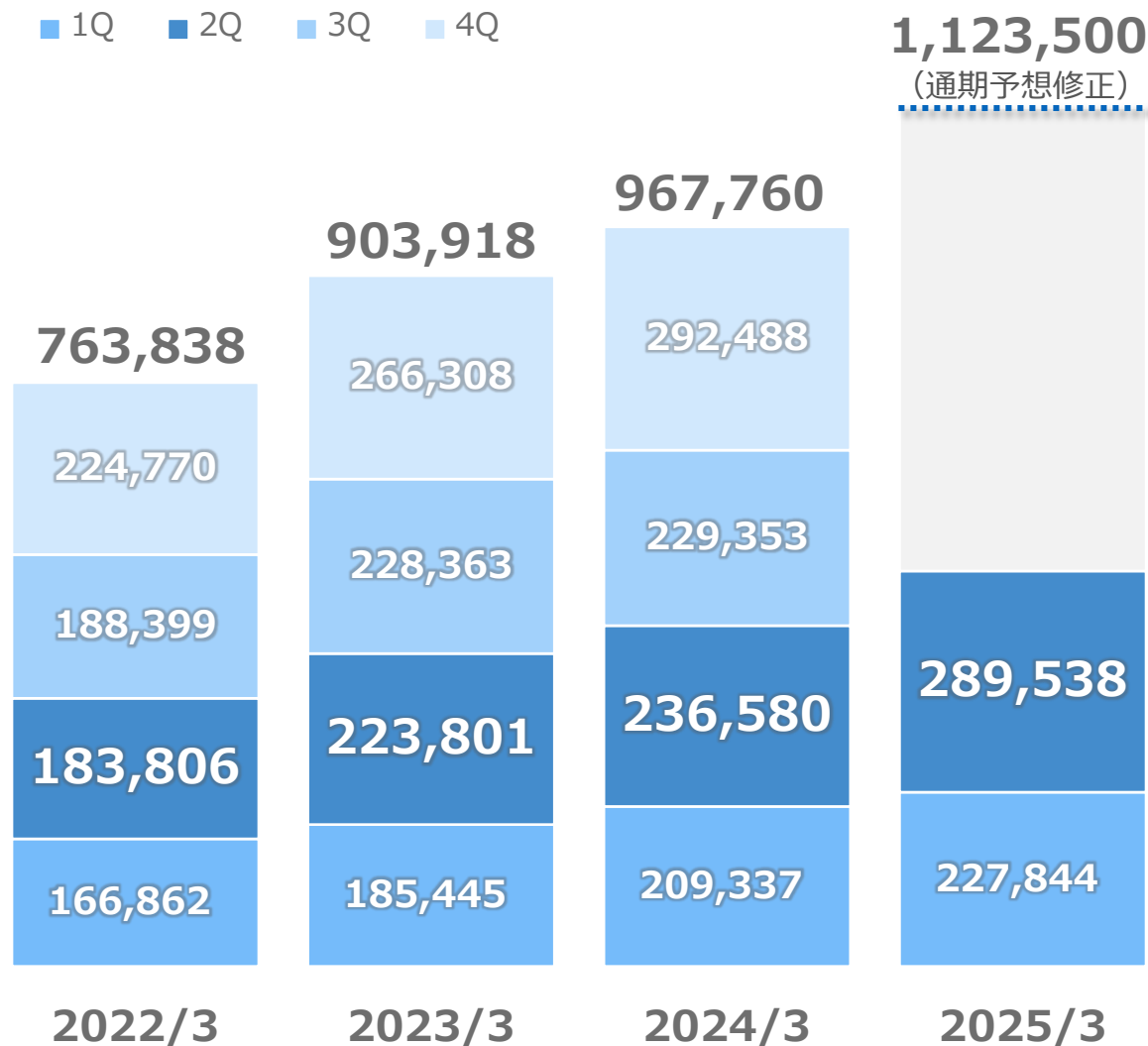
- 2025年3月期 通期売上高および営業利益の見通しを上方修正

株主還元

- 配当金を20円増配し、1株あたり90円へ（中間45円、期末45円） →P38
- 自己株式取得の100億円は予定通り進捗（10月末時点取得価額：85.8億円）

2025年3月期 2Q累計 売上高（4～9月）

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q



売上高 **517,383** 百万円

前年同期比 + **16.0%**

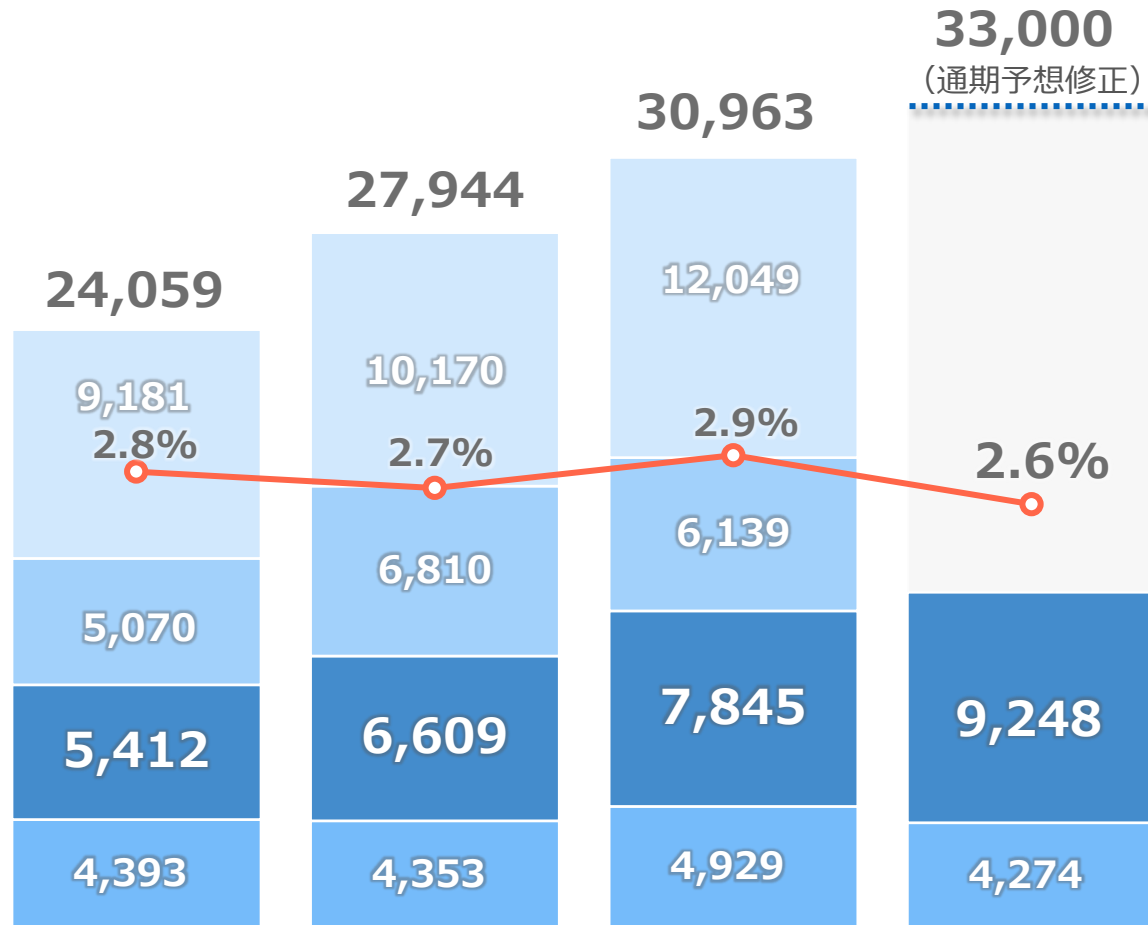
通期進捗率 **46.1%**

上期業績として過去最高の売上高

(百万円)

2025年3月期 2Q累計 営業利益（4～9月）

1Q 2Q 3Q 4Q 売上高営業利益率（2Q）



営業利益 **13,522**百万円

前年同期比 **+5.9%**

営業利益率 **2.6%**

通期進捗率 **41.0%**

(百万円) 2022/3 2023/3 2024/3 2025/3

2025年3月期 2Q累計 連結決算概況（4～9月）

(百万円)	2024/3 2Q	2025/3 2Q	増減	前期比	修正後 通期予想	進捗率
売上高	445,917	517,383	+71,465	+16.0%	1,123,500	46.1%
営業利益	12,774	13,522	+747	+5.9%	33,000	41.0%
経常利益	12,915	13,839	+923	+7.2%	33,400	41.4%
親会社株主に帰属する 中間純利益	8,526	9,474	+947	+11.1%	23,000	41.2%
1株当たり 中間純利益（円）	91.23	102.52				

(百万円)	2024/3	2024/9	増減	主な増減理由
総資産	405,256	396,878	△8,378	売上債権の回収による減少
純資産	142,133	140,689	△1,444	自己株式の取得
自己資本比率	35.0%	35.4%		

2025年3月期 2Q累計 セグメント別業績 (4～9月)



(百万円)		2024/3 2Q	2025/3 2Q	増減	前期比
売上高	ITインフラ流通	409,237	511,053	+ 101,815	+ 24.9%
	産業機械	6,680	6,329	△ 351	△ 5.3%
	繊維	29,679	—	△ 29,679	—
	その他	320	—	△ 320	—
	合計	445,917	517,383	+ 71,465	+ 16.0%
営業利益	ITインフラ流通	11,575	13,170	+ 1,594	+ 13.8%
	産業機械	521	348	△ 172	△ 33.2%
	繊維	620	—	△ 620	—
	その他	33	—	△ 33	—
	(調整額)	24	4	△ 20	△ 83.2%
	合計	12,774	13,522	+ 747	+ 5.9%

業績推移（売上高）

売上高（億円）

2010/3
4,489

2024/3
9,677

2.2倍 ↑

営業利益（億円）

50

309

6.2倍 ↑

ROE

4.6%

※3.0%

ROA

1.8%

7.7%

自己資本比率

17.8%

35.0%

収益認識に関する会計基準の
適用による影響額▲648億円

売上高

11,235億円

（11/6上方修正）

※2024年3月期のROEは繊維事業の独立により一時的に下落

WinXP EOS

GIGA School

10,435億円

Win7 EOS

9,440億円

7,855億円

7,638億円

9,039億円

9,677億円

4,489億円

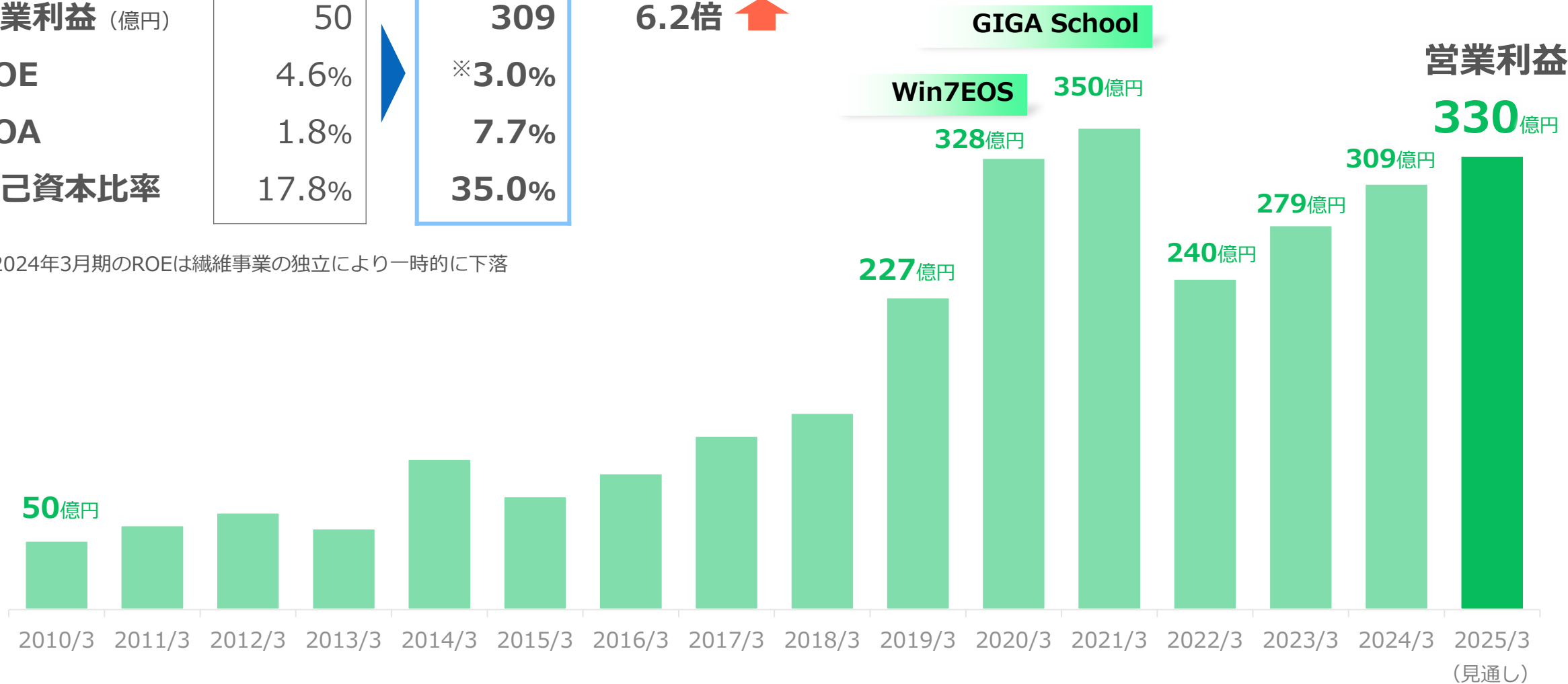
2010/3 2011/3 2012/3 2013/3 2014/3 2015/3 2016/3 2017/3 2018/3 2019/3 2020/3 2021/3 2022/3 2023/3 2024/3 2025/3

（見通し）

業績推移（営業利益）

	2010/3	2024/3	
売上高（億円）	4,489	9,677	2.2倍 ↑
営業利益（億円）	50	309	6.2倍 ↑
ROE	4.6%	※3.0%	
ROA	1.8%	7.7%	
自己資本比率	17.8%	35.0%	

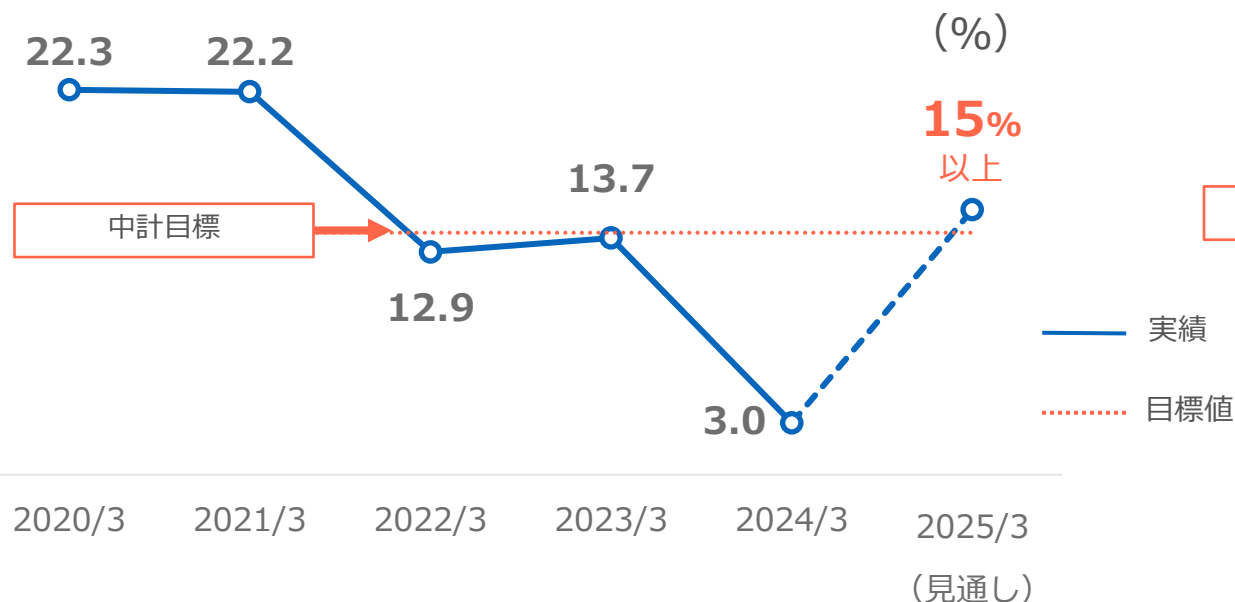
※2024年3月期のROEは繊維事業の独立により一時的に下落



中期経営計画の進捗状況＜グループ経営指標＞

ROE 14%以上

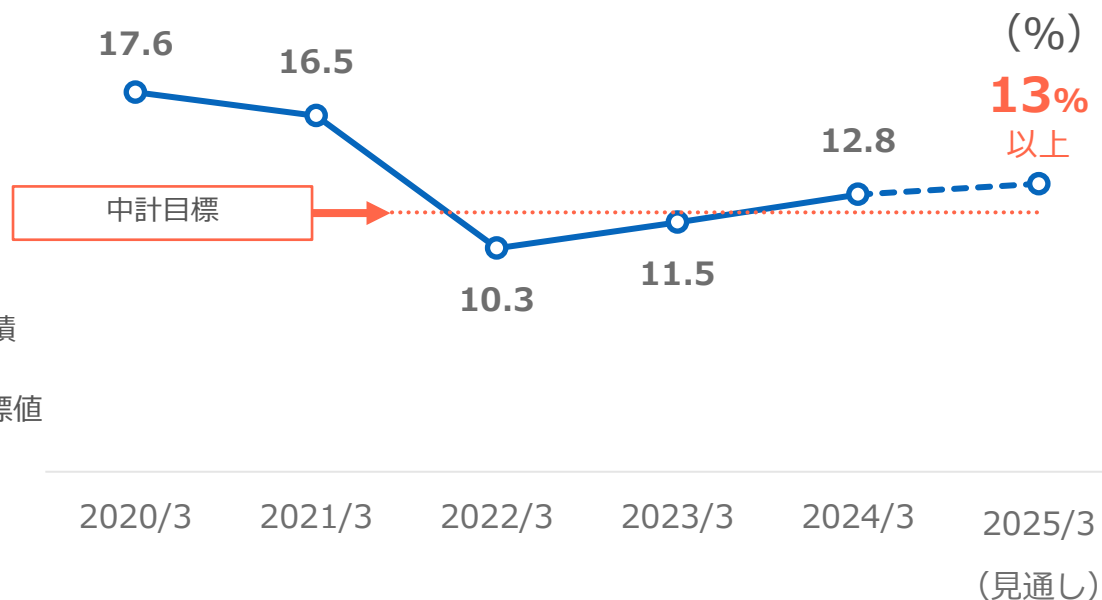
自己資本当期純利益率
＜株主資本に対するリターン＞



24年3月期は一過性の特別損失計上のため低下も
今期は本来の収益力に回復の見通し

ROIC 12%以上

投下資本利益率
※税引後営業利益／（純資産＋有利子負債）
＜投下資本に対するリターン＞



自社認識の資本コストを上回るとともに
中計目標水準をクリアする見通し

| 当社事業の強みと戦略

総合商社

専門商社

食品

繊維

鉄鋼

化学

ITインフラ流通

機械

医薬品

燃料・エネルギー

電子・半導体

日用品・化粧品

DIS

ダイワボウ情報システム株式会社

**国内最大級の
IT専門商社**

社員数 : 2,381名
拠点数 : 96拠点(国内)
取扱いメーカー数 : 1,400社
取扱いアイテム数 : 260万
販売パートナー数 : 19,000社
物流センター : 5か所(国内)



【本社所在地】
中之島フェスティバル
タワー・ウエスト10F

【参考情報】「会社四季報」業界地図 2024年度版

※2024年3月末時点

ダイワボウ情報システム（DIS）の歩み

1982 DIS創業

- 大和紡績が、PC活用による生産現場のモニタリングシステムを自社開発したノウハウを生かして、わずか10名でスタート
- システム開発・販売ではなく、PCをはじめとした情報機器の販売にシフト

1983-1984 多店舗展開

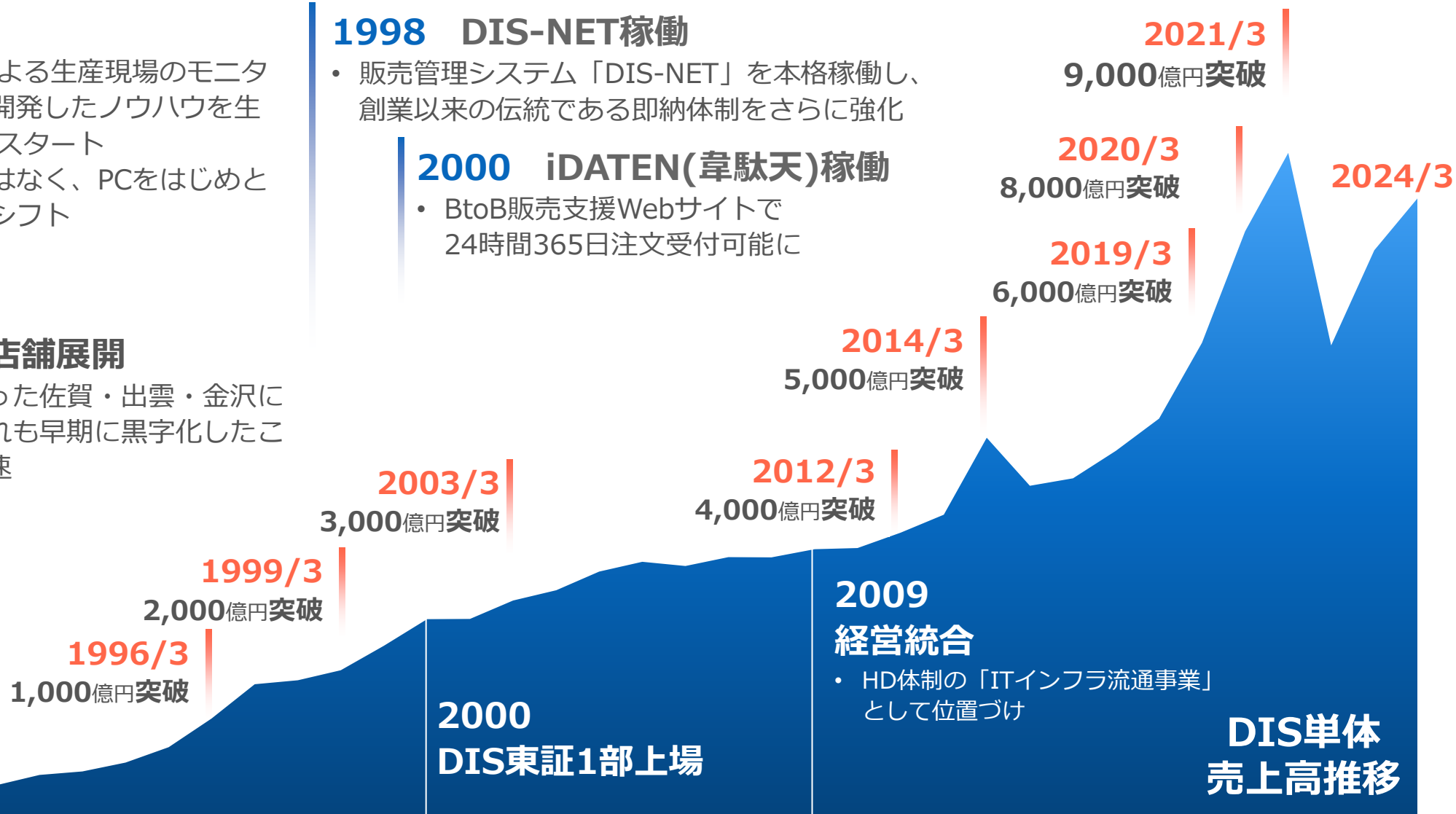
- 大和紡績の工場があった佐賀・出雲・金沢に支店を開設し、いずれも早期に黒字化したことで多店舗展開を加速

1998 DIS-NET稼働

- 販売管理システム「DIS-NET」を本格稼働し、創業以来の伝統である即納体制をさらに強化

2000 iDATEN(韋駄天)稼働

- BtoB販売支援Webサイトで24時間365日注文受付可能に



2009 経営統合

- HD体制の「ITインフラ流通事業」として位置づけ

DIS単体
売上高推移

成長分野でのポジション &バリューアップ

- クラウドプラットフォーム市場でのシェア拡大
- SaaSモデルにおける事業領域の拡大

DX推進による パートナーリレーションシップ

- 企業価値向上に向けたビジネスモデル変革
生産性向上の実現
- 先端技術を含む
海外ベンダー拡販による
事業領域拡大



業界リーダー企業として コア領域の深化

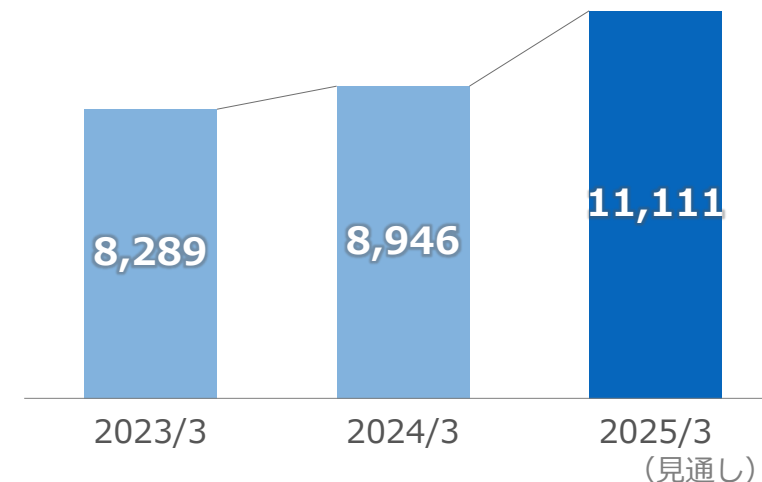
- ITデバイス基盤における事業領域の拡大
- 高付加価値商材
ビジネス領域の成長
- 技術専門部隊による支援体制を整備し提案力強化

企業ブランディング と戦略的投資

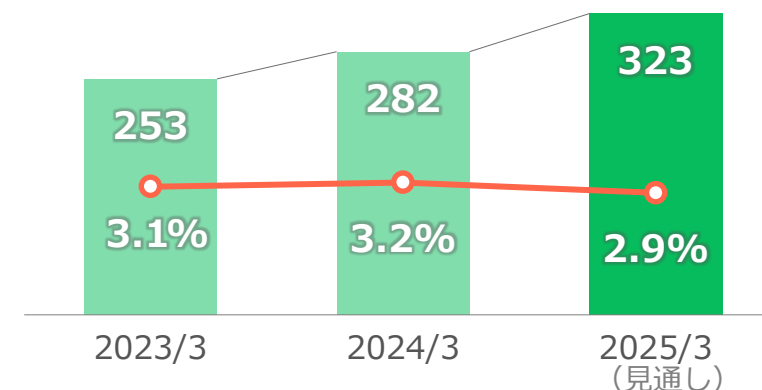
- 社会認知度向上、業界発展への寄与および地域社会への貢献
- 事業強化に向けた投資
(システム、M&A、業務提携)
- 業界最適化に向けた投資
(物流機能、iKAZUCHI (雷))

実績推移と今期予想

(億円)



■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 営業利益率



ITインフラ流通事業の事業構造

メーカー
(仕入先) 

世界中のメーカー
の豊富な商品群

約1,400社

約260万アイテム



PC
PCs



SIMフリー端末・
スマートフォン
SIM free terminal,
Smartphones



ペリフェラル
Peripherals



ネットワーク
Network



ソフトウェア
Software



通信・クラウド
Communication,
Cloud

DIS
全国96拠点の営業網

オリジナル販売管理システム

iDATEN (韋駄天)

iKAZUCHI (雷)

サービス&サポート機能

設定・設置・オリジナル保守・コールセンター

全国をカバーする物流拠点

入荷～在庫～配送までメーカー倉庫代行
キitting

プロモーション機能

オリジナルマガジン「PC-Webzine.com」
イベント開催 (DISわあるど/ICT EXPO/オン
ラインセミナーなど)

販売
パートナー 

約19,000社

商社

SIer・Nier

事務機器販売店

量販店・専門店

通信回線業者

EC事業者

ユーザー
の多様化

法人向

企業

官公庁

教育関連

医療機関

個人向

一般のお客様



ディストリビューターの付加価値

世界中のメーカー
約1,400社 / 260万商品



DiS

全国96拠点の営業網

約19,000社
販売パートナー



マーケット情報の入手
✓ ➡ 適切な生産計画

倉庫～配送など
✓ 物流コストの削減

✓ 顧客情報管理の効率化

需要と供給
両サイドのマーケット
情報提供

全国に物流網整備
倉庫管理～配送まで
メーカー倉庫機能代行

顧客情報の管理・提供

見積もり依頼など
✓ 効率的な営業活動

✓ メーカー・
商品情報の入手

✓ 物流機能の委託

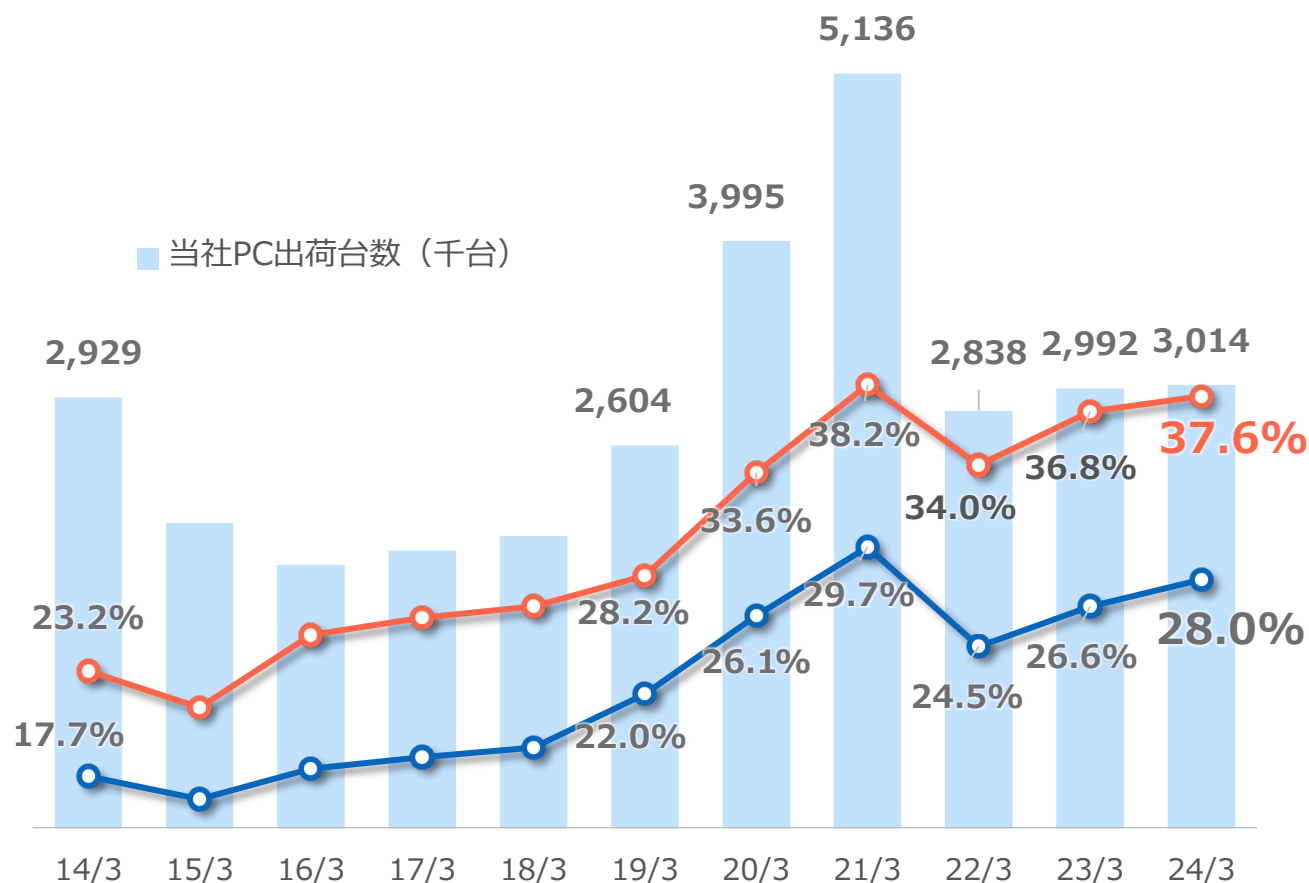
キittingなど
✓ 運用サポート

法人利用のPC **3台に1台以上**は当社が関与

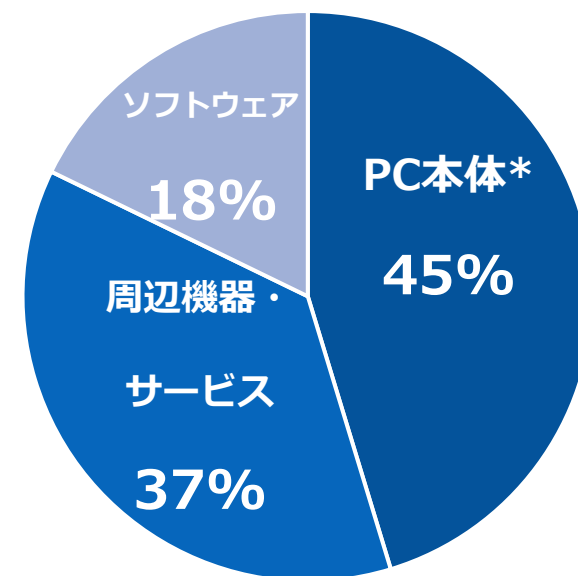
法人向けPCシェア
37.6%

国内全体PCシェア
28.0%

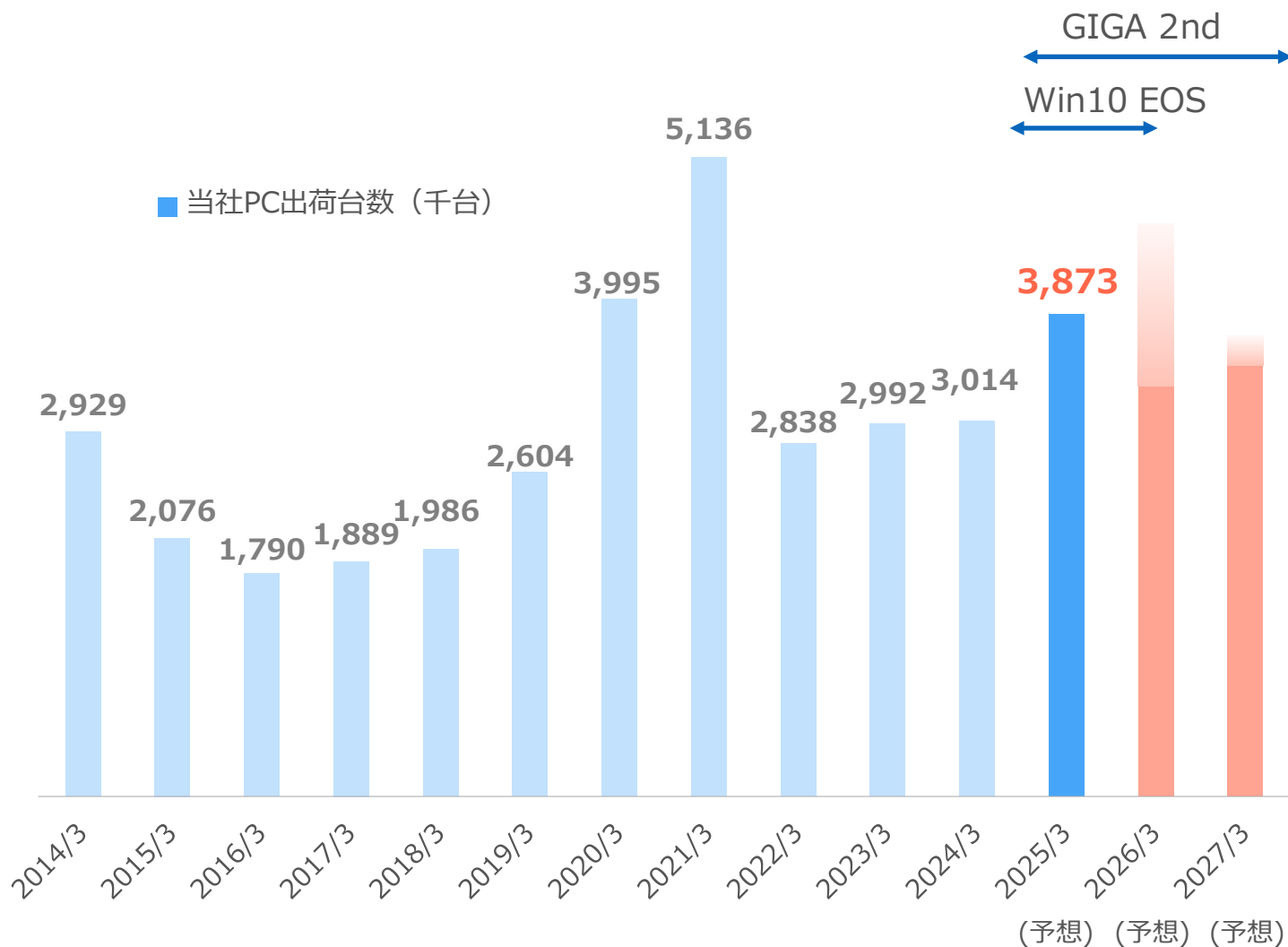
2024年3月期 売上高構成



【参考情報】MM総研調査



*PC本体=PC、サーバー、タブレット、スマートフォン等の端末本体



Windows10のサポート終了

- 2025年10月14日Windows10サポート終了
- 大企業向けの導入が当初想定よりも前倒しとなり、出荷台数は2Qで前年比+38.6%
- 下期も大幅増加となる**215万台**を予想（前年比+31%）

GIGAスクール構想第2期の見通し

- 今年度の更新は先行調達案件（オプタアウト）分となり限定的
- 都道府県を中心とした共同調達による公示および入札は2025年1月以降に実施される予定
- 入札後導入のピークは、2026年3月期を想定

オフィス系、セキュリティ、画像処理、
労務系、財務・給与など、いろいろな
ソフトとサービスプランがありすぎて
管理しきれない！



エンドユーザー



iKAZUCHI(雷)
販売パートナー



DiS

開発ベンダー

■ パートナーのメリット

- 即利用可能
- 複数ベンダー・サービスを、ユーザー単位で管理できる
- サービス毎に異なる契約条件を、一元管理

■ ベンダーのメリット

- DiSの営業力を利用可能
- API連携で、サービス発行・請求管理の効率化が可能
- 回収リスク軽減

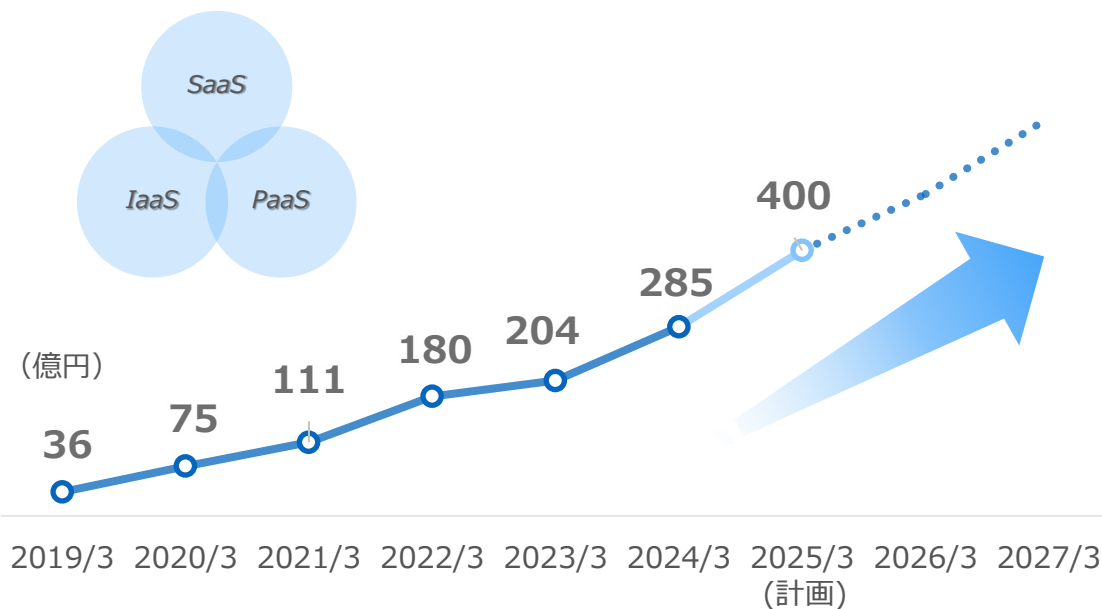
利用状況が
一目で
わかって
管理が楽に
なった！



iKAZUCHI(雷)取扱高

サブスクリプション管理ポータル「iKAZUCHI(雷)」
を通じた販売パートナーへの販売総額

2024/3～2027/3 **CAGR30%以上**の成長を目指す



サブスクリプションビジネスの
市場を拡大し継続収益の「地盤」を強化



物流センター効率化

関西センター（神戸市）



2020年5月稼働

倉庫面積：36,342㎡

関東中央センター（埼玉県吉見町）



2016年6月稼働

倉庫面積：44,753㎡

ロボットストレージシステム

→作業効率・スペース最適化

【ロボット稼働台数】

関東中央：45台、関西：30台

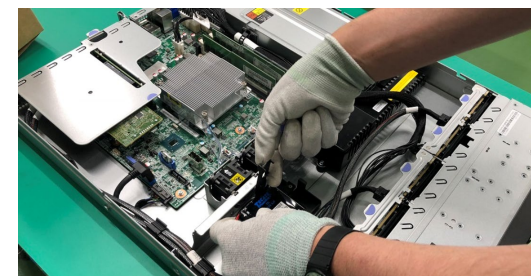
キittingセンター併設

→入荷＞作業＞出荷に迅速対応

PC・タブレット
キitting実績：年間18万台（2023/3期）

トラック予約受付システム

→入出荷情報の共有・車両平準化



東西メガセンターを中心に
効率化・生産性向上に注力

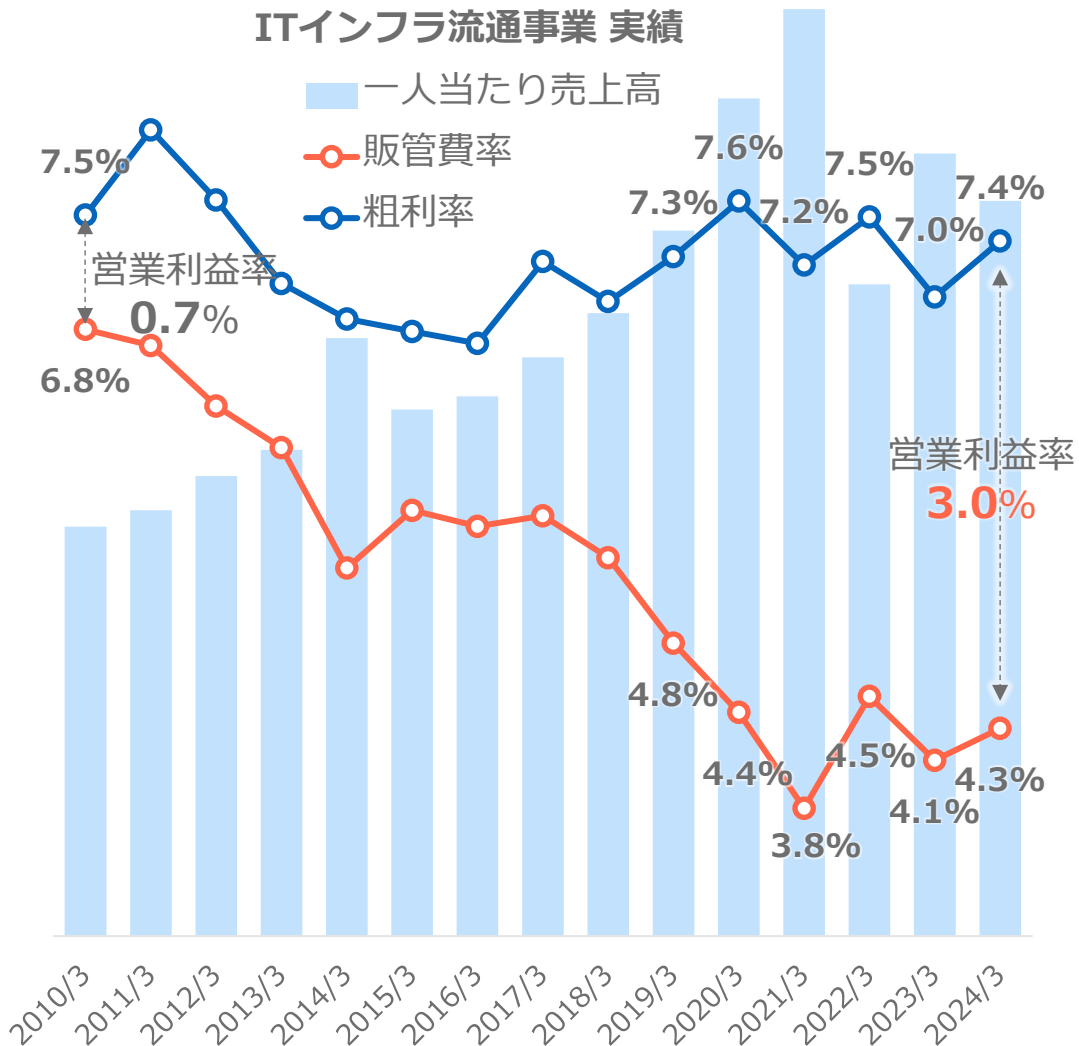
営業効率化とローコストオペレーション

ITインフラ流通事業 実績

■ 一人当たり売上高

○ 販管費率

○ 粗利率



※連結調整を反映していませんのでセグメント実績とは異なります

1兆円を支える販売管理システム DIS-NET

1998年
DIS-NET稼働

2005年
DIS-NET II

2013年
DIS-NET III

2020年
DIS-NET IV

2026年
DIS-NET V

物流管理

仕入在庫管理

販売管理

与信管理

債権回収

3カ年で以下の機能強化を実施

- 性能向上のため機器スペック増強、可用性改善
- 既存システムの移行、非互換プログラムの改修を含むマイグレーション
- 災害・障害・セキュリティ対策と運用管理改善・可用性向上
- 社内システム連携強化、自動化
- iDATEN（韋駄天）、iKAZUCHI（雷）、EDIなどの機能強化



株式会社 **オーエム製作所**

立旋盤、鉄道車輪旋盤の
国内トップメーカー

創設	:	1949年7月
本社	:	大阪市淀川区
拠点数	:	9拠点(海外2拠点含む)
社員数	:	488名(グループ)

※2024年3月末時点



オーエム製作所 長岡工場（新潟）

立旋盤

中・大型立旋盤
国内シェアNo.1



立旋盤のオーエム



車輪旋盤

床下車輪旋盤
国内シェアNo.1



鉄道の安全を影で守り抜く



自動機械



工作機械における潜在市場への事業拡大

- 省人化・無人化機能搭載の機台による生産効率向上の提案
- 長岡工場増築による戦略的かつ計画的な生産の実施
- 短納期での販売促進を展開し新規市場への拡大を図る
- 海外市場のさらなる拡大に向け成長が見込まれる市場への展開を模索



自動機械における包装機自動化需要の取り込み

- 自動供給装置標準化による品質向上とコストダウン
- 中国包装機メーカーとの協業による生産性向上
- 食品・製菓業界に向けて提案営業の強化

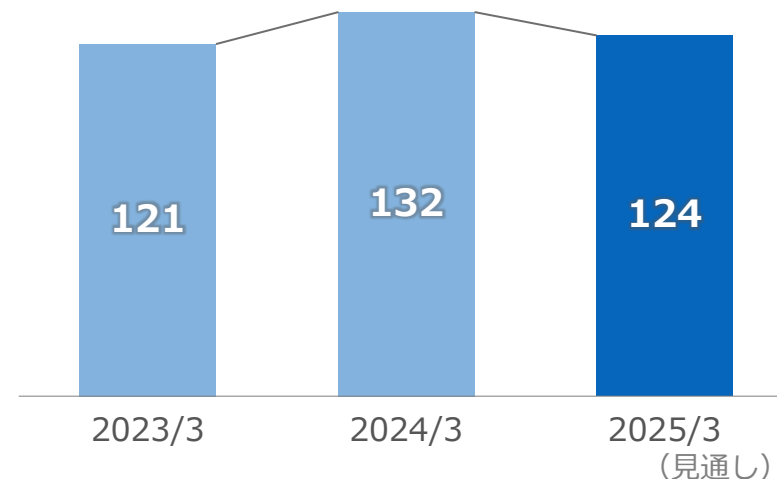
- 拡大が見込めるエネルギー・航空機業界を重点とした提案営業の強化

サービス強化による収益力向上

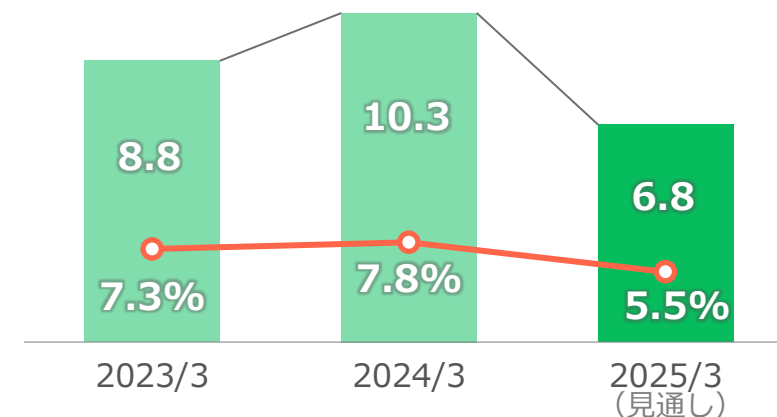
- 顧客満足度向上と安定的な収益拡大を図る
- 導入済み機台のオーバーホール提案を重点的に実施
- 協力企業の開拓や社員のスキルアップによる技術力向上

実績推移と今期予想

(億円)



■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 営業利益率



| 中長期ビジョン『2030VISION』

中長期ビジョン『2030 VISION』

エクイティストーリー

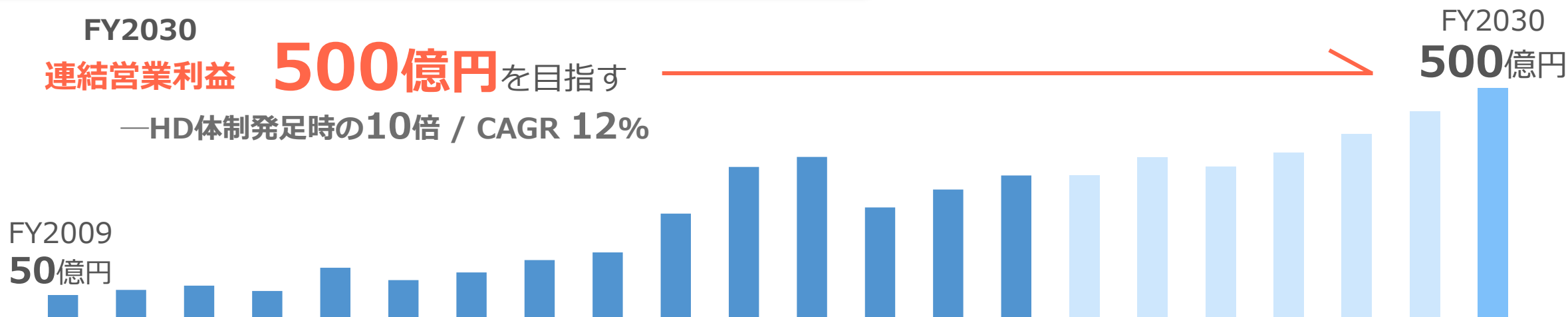
IT分野を軸に
新たな事業領域へ経営資源を投入し
バリューチェーンのさらなる発展に
つながるグループ体制を構築する

「なくてはならない企業グループ」へ

社会に求められる事業モデルを創造する

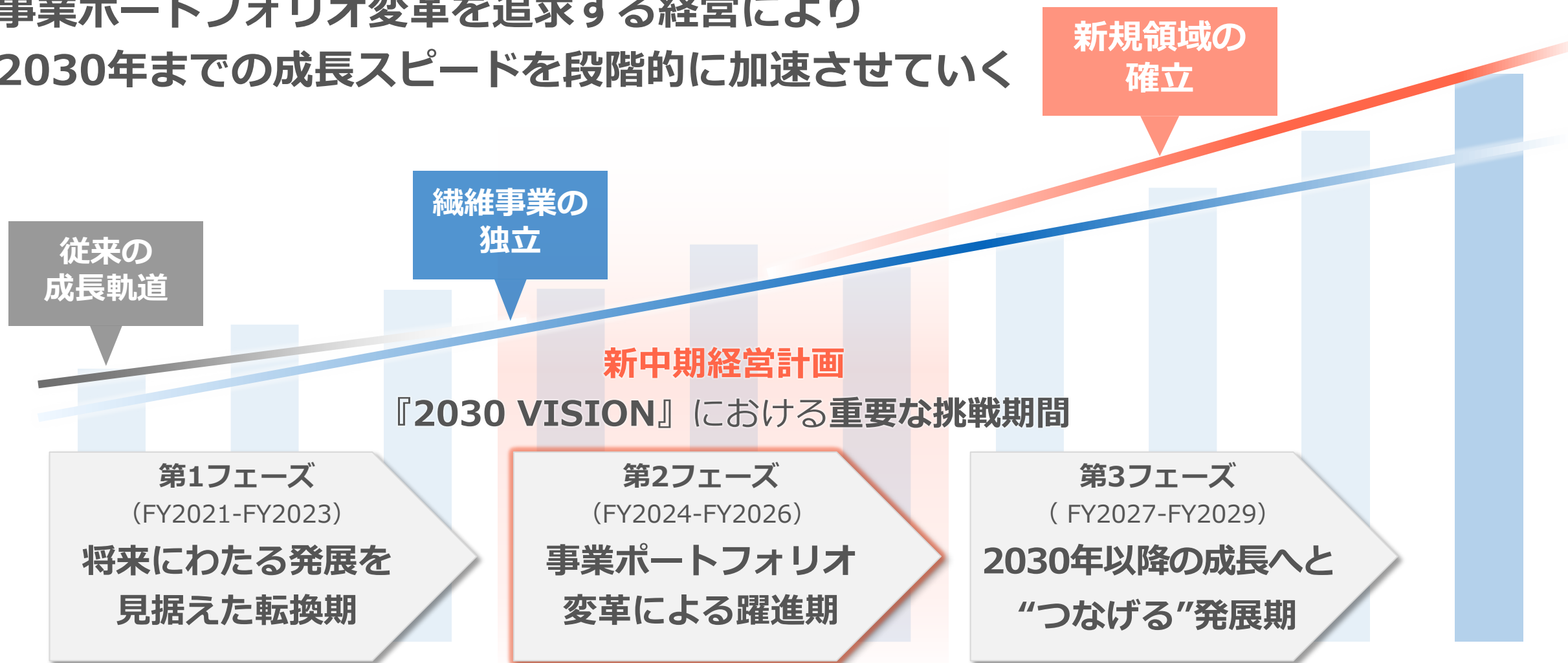
All-in-One Solution Company

ディストリビューションを不動のコアに
IT市場全体を“つなぐ”



『2030 VISION』 実現による成長イメージ

事業ポートフォリオ変革を追求する経営により
2030年までの成長スピードを段階的に加速させていく

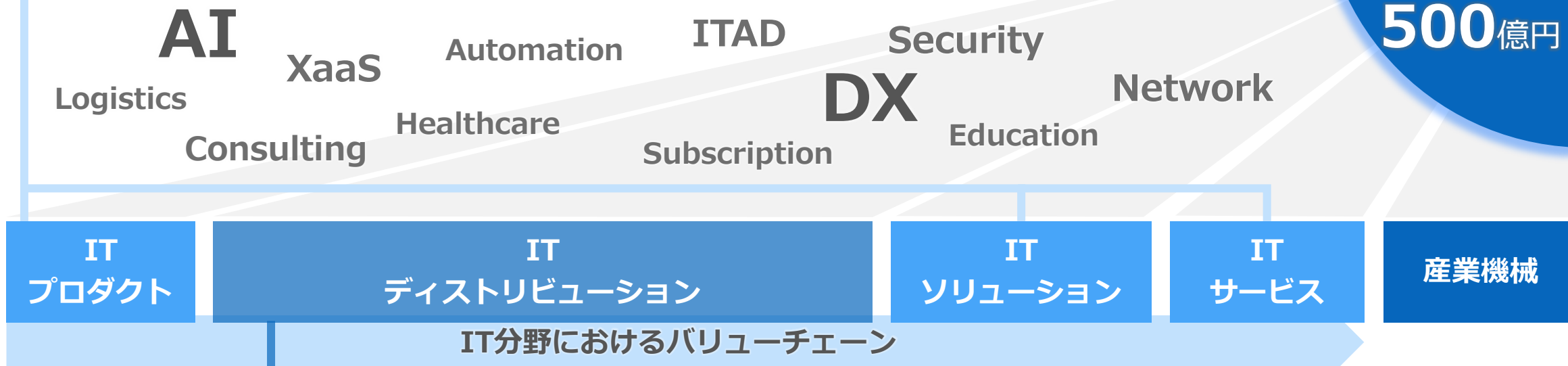


『2030 VISION』で達成したい当社のあるべき姿

新規領域は知見のあるIT市場の周辺分野や
AI・DX関連を含めた先進テクノロジー分野を中心に模索

FY2030目標
連結営業利益

500億円



コア領域のさらなる強化・深化に向けて

3つのS【 Service / Solution / Sustainability 】を中心に機能拡充

迅速な意思決定と投資が可能なホールディングス体制の利点を活かして持続的成長を実現

▶▶▶ あるべき姿の体現に向け社名変更も検討

| 株主還元

1株配当

自己株式取得

配当性向

総還元性向

2025年3月期（予想）

中間	期末	年間
45円	45円	90円

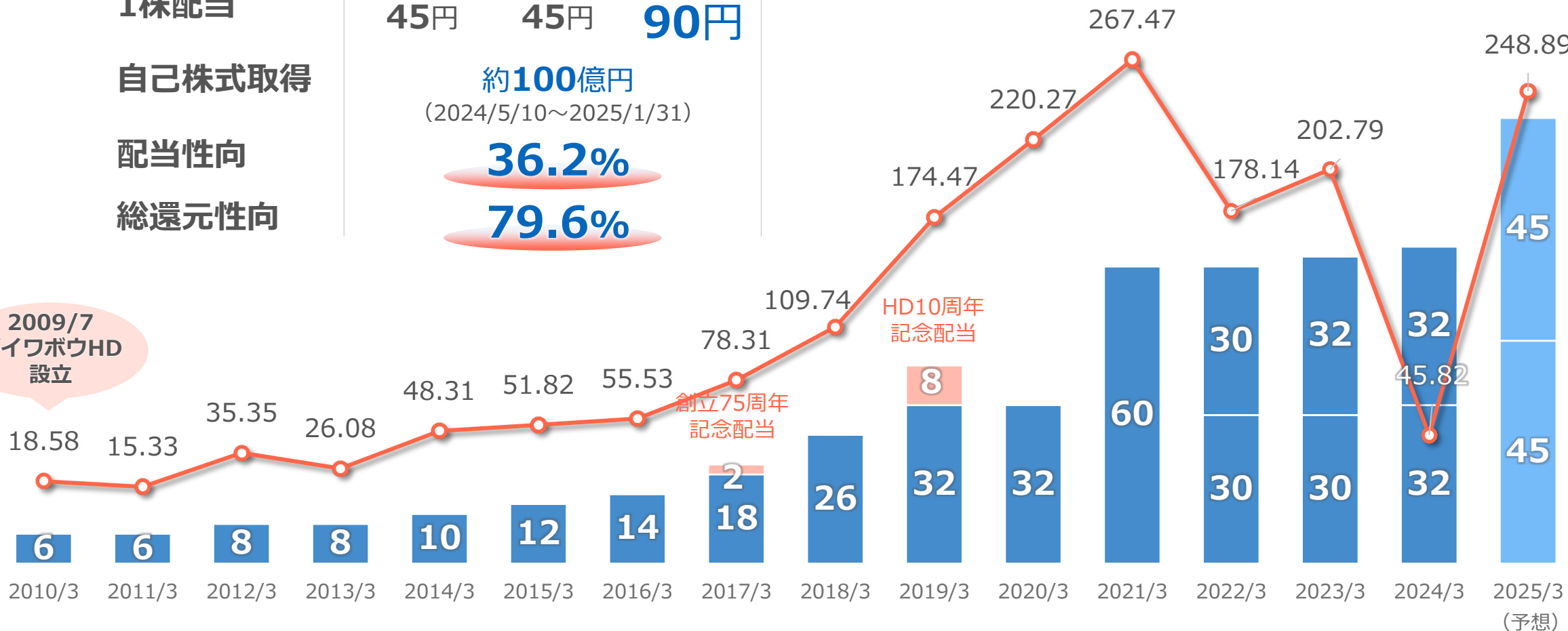
約100億円
(2024/5/10~2025/1/31)

36.2%

79.6%

■ 1株当たり配当金（円）
○ 1株当たり利益/EPS（円）

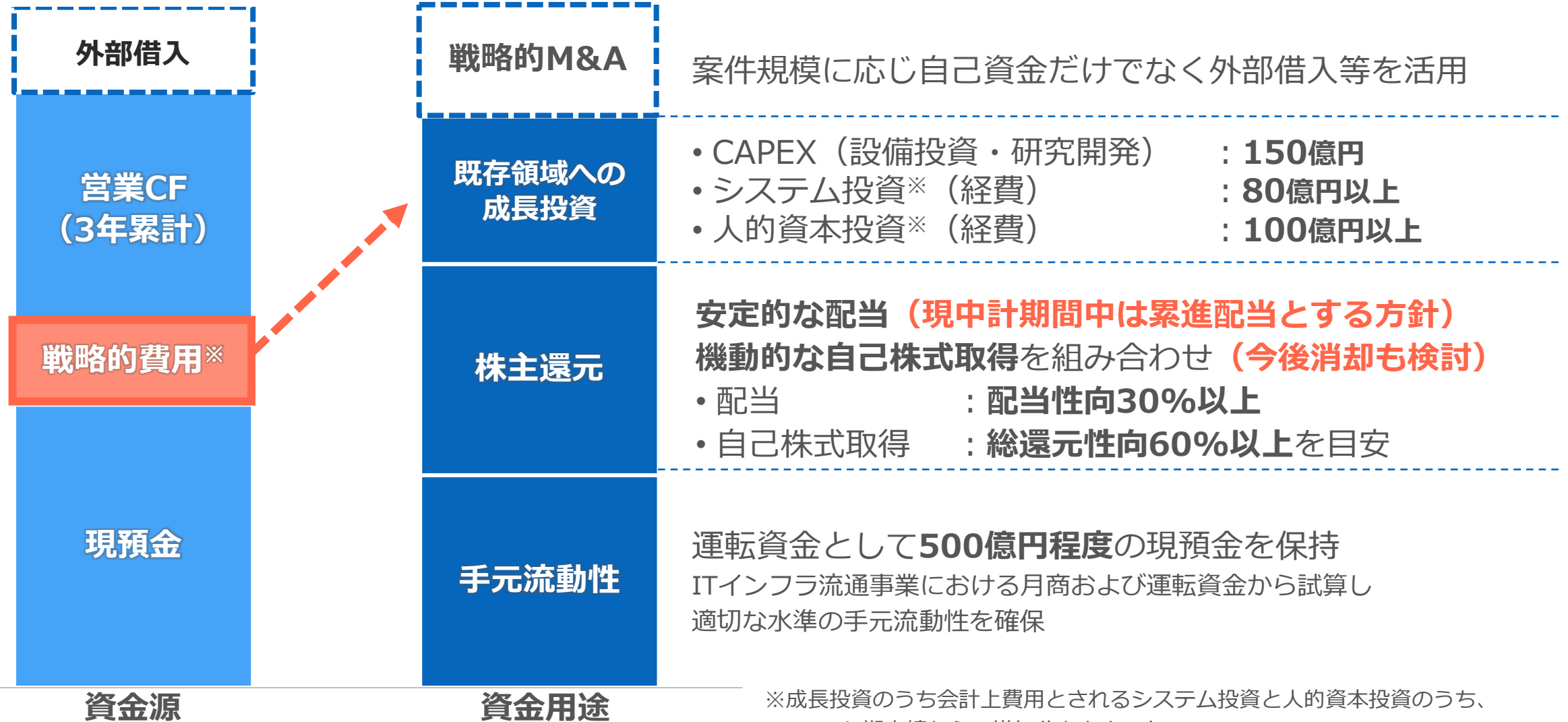
2009/7
ダイワボウHD
設立



※株式併合（2017/10/1）・株式分割（2021/4/1）を過年度に遡及して表示

キャピタルアロケーション方針（2025/3期～2027/3期）

3カ年累計でのキャピタルアロケーションイメージ



※成長投資のうち会計上費用とされるシステム投資と人的資本投資のうち、2024/3期実績からの増加分をカウント

TSR 223.4% ※5年間（2019/3→2024/3）
株主総利回り

PER 10.92倍 ※2024/9終値ベース
株価収益率 11月6日開示 1株当たり当期純利益見通し

PBR 1.78倍 ※2024/9終値ベース
株価純資産倍率

相対株価（月足・終値ベース）

■ ダイワボウHD

■ 日経平均株価

2024年10月末時点

2,770.5 円

2,568 円

2024年3月末



※株価は株式併合（2017/10/1）・株式分割（2021/4/1）を過年度に遡及して表示

ダイワボウホールディングスとは？

- 最適な事業ポートフォリオを検討の結果、2024年3月に大和紡績の株式85%を譲渡し**繊維事業が独立**
- IT関連製品の「卸売業」が売上高の90%以上を占める、**ITインフラ流通事業が主軸**
- IT分野を軸に社会に求められる事業モデルを創造する「**なくてはならない企業グループ**」へ

業績見通し・株主還元方針

- 中期経営計画の初年度である今期の売上高は、過去最高の**1兆1,235億円**を予想
- 今期の経営指標は当社目標水準を上回り、**ROE:15%以上、ROIC:13%以上**の見通し
- 現在の中期経営計画期間中は**累進配当**とし、機動的な自己株式取得を組み合わせ**総還元性向60%以上**

当社コーポレートサイトのご紹介

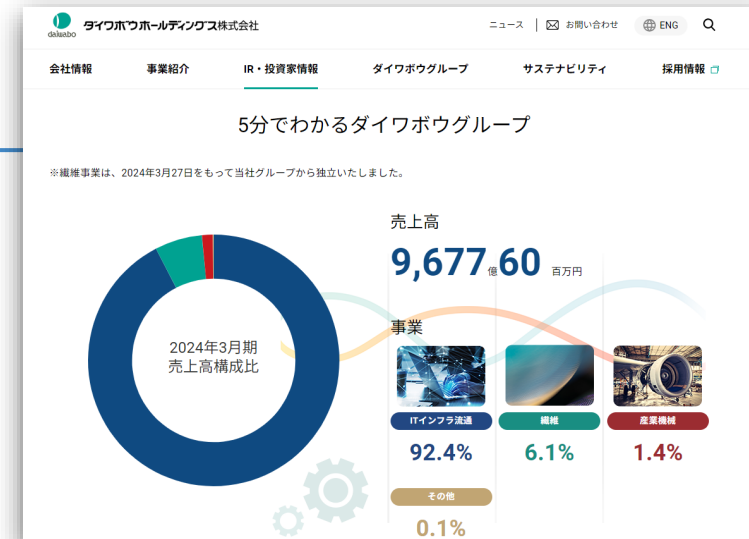


<https://www.daiwabo-holdings.com/>



適時開示情報や事業ニュースをはじめ
事業紹介やIR資料などを発信しています

IR・投資家情報



サステナビリティ



【参考資料】

- ▶ ITインフラ流通事業の「取扱高」について
- ▶ iKAZUCHI（雷）ビジネスモデル
- ▶ 業績推移グラフ

取扱高

Transaction Volume

- 2021年3月期以前の売上高と同じ基準で算出
(= 会計基準変更前の売上高)
- 取引規模を示す上で重要な指標となるため「取扱高」として継続して活用
- 管理会計における営業評価

取扱高

売上高

「収益認識に関する会計基準」

適用による影響額

(2022/3期～)

一部の保守・保証サービス、iKAZUCHI(雷)によるソフトウェア販売など、会計基準上の「代理人取引」について、販売対価の純額を売上高に計上

売上高

Net Sales

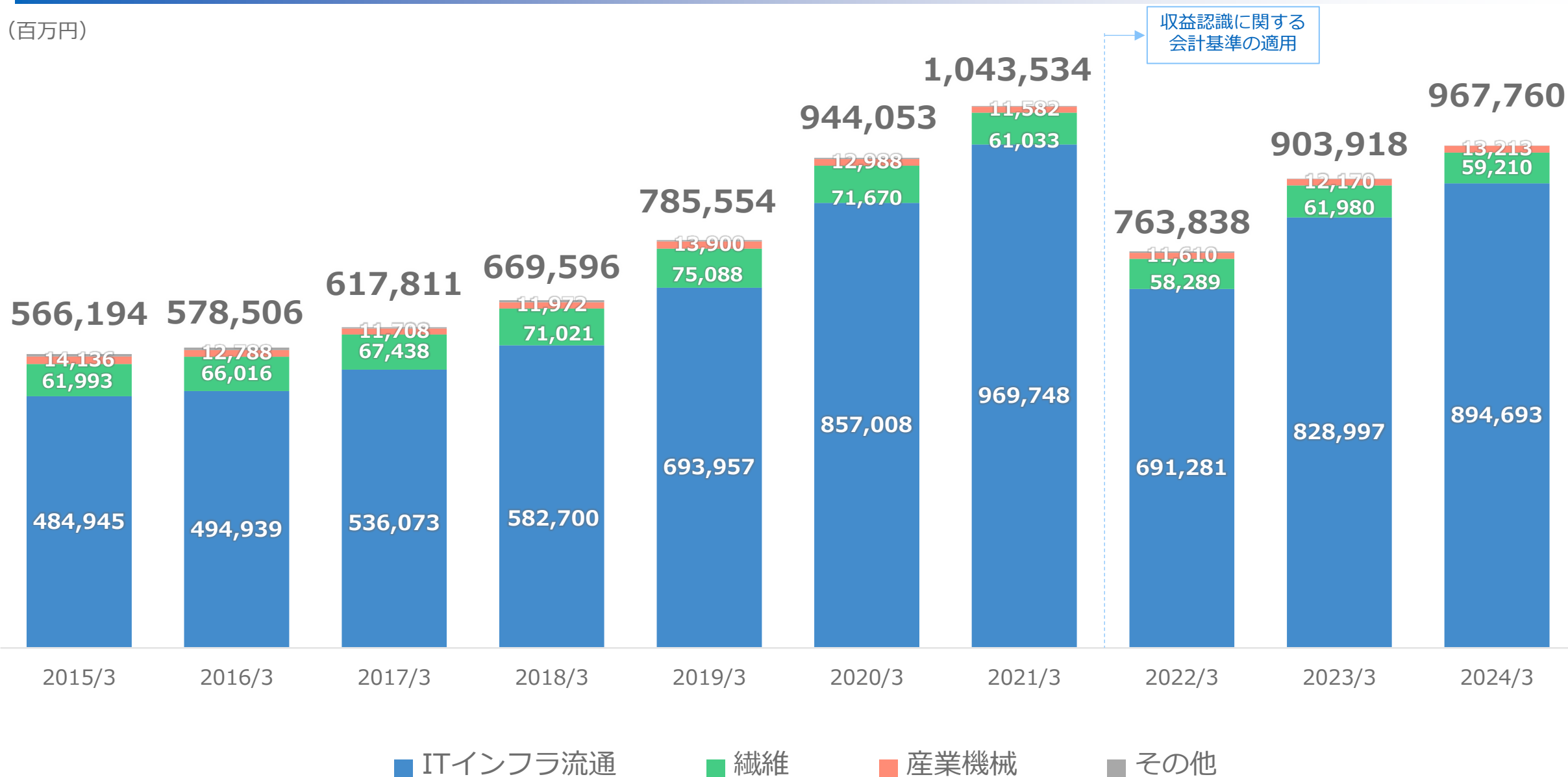
- 2022年3月期以降の売上高
- 財務会計における業績評価

iKAZUCHI(雷)ビジネスモデル



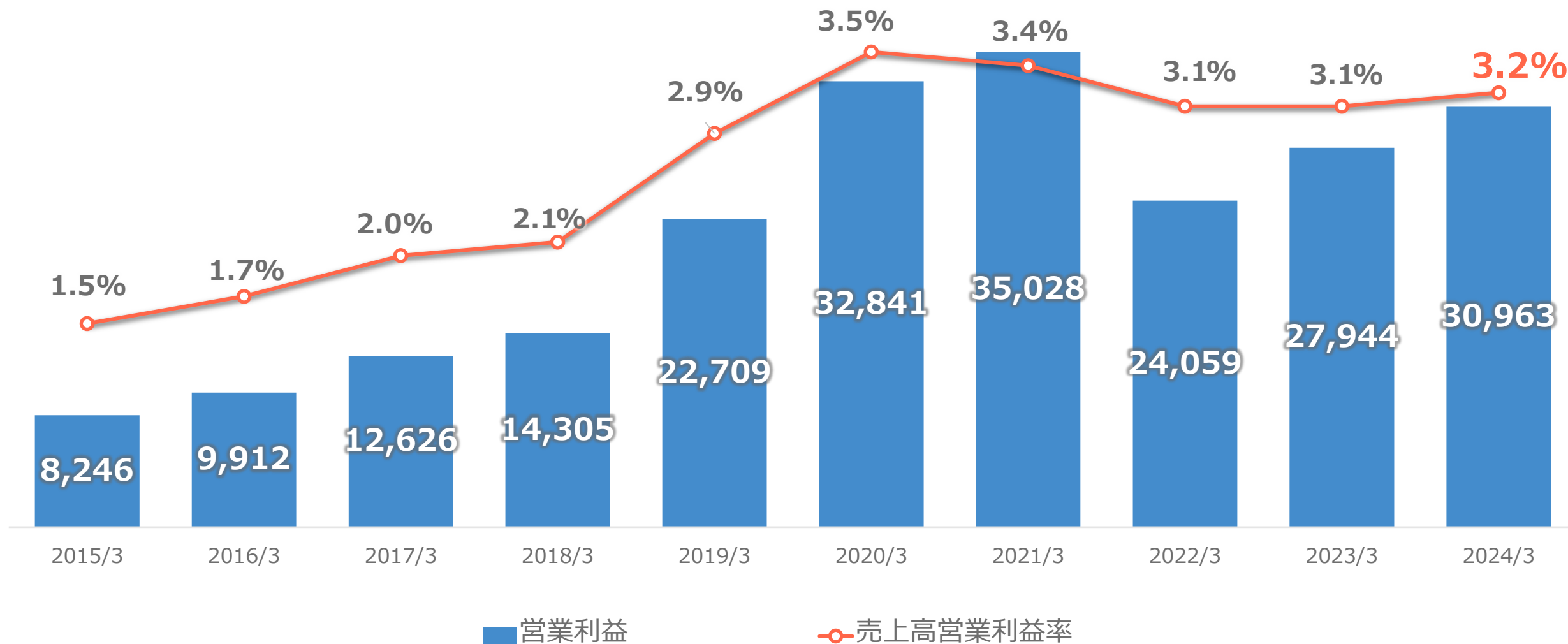
連結売上高（通期）

（百万円）



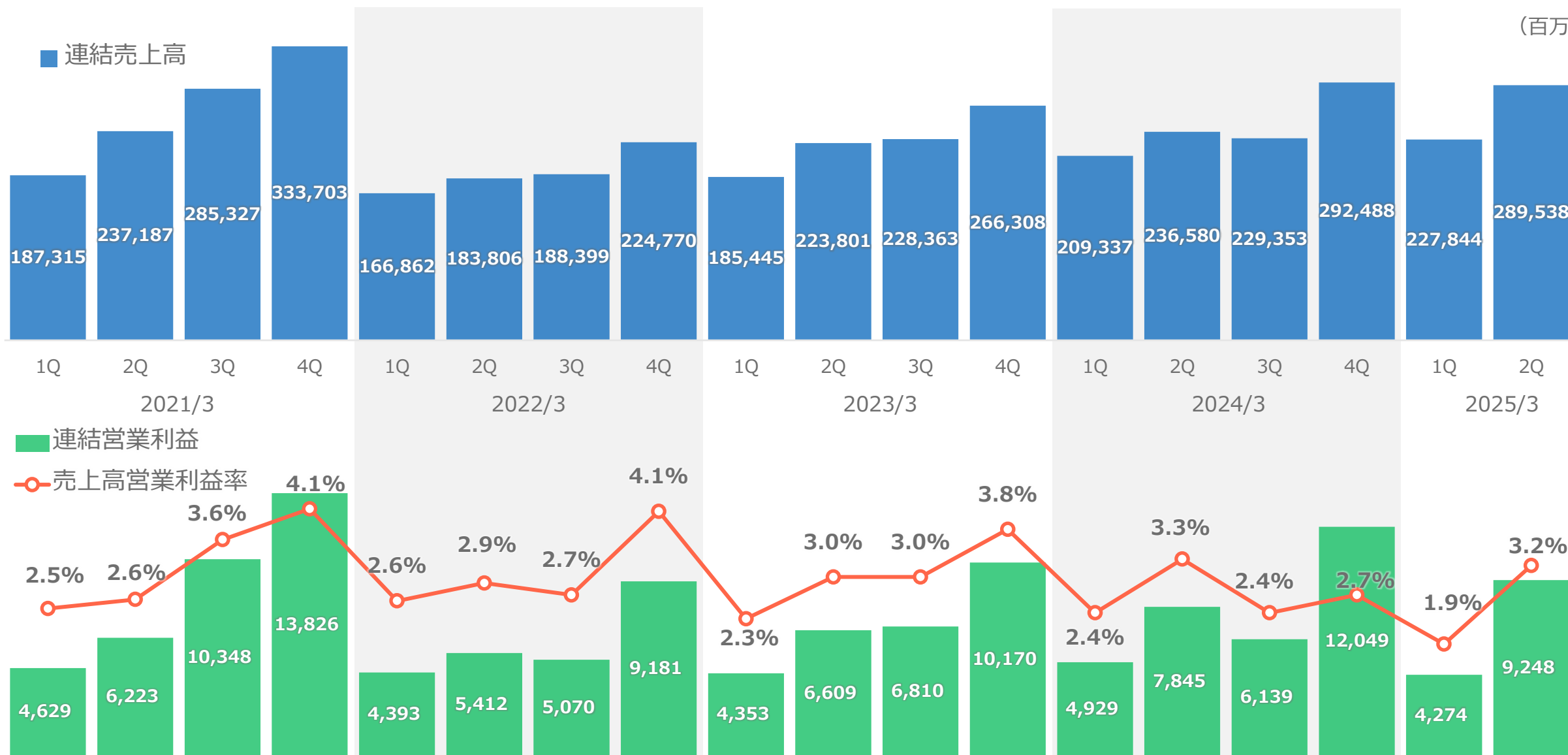
連結営業利益（通期）

(百万円)



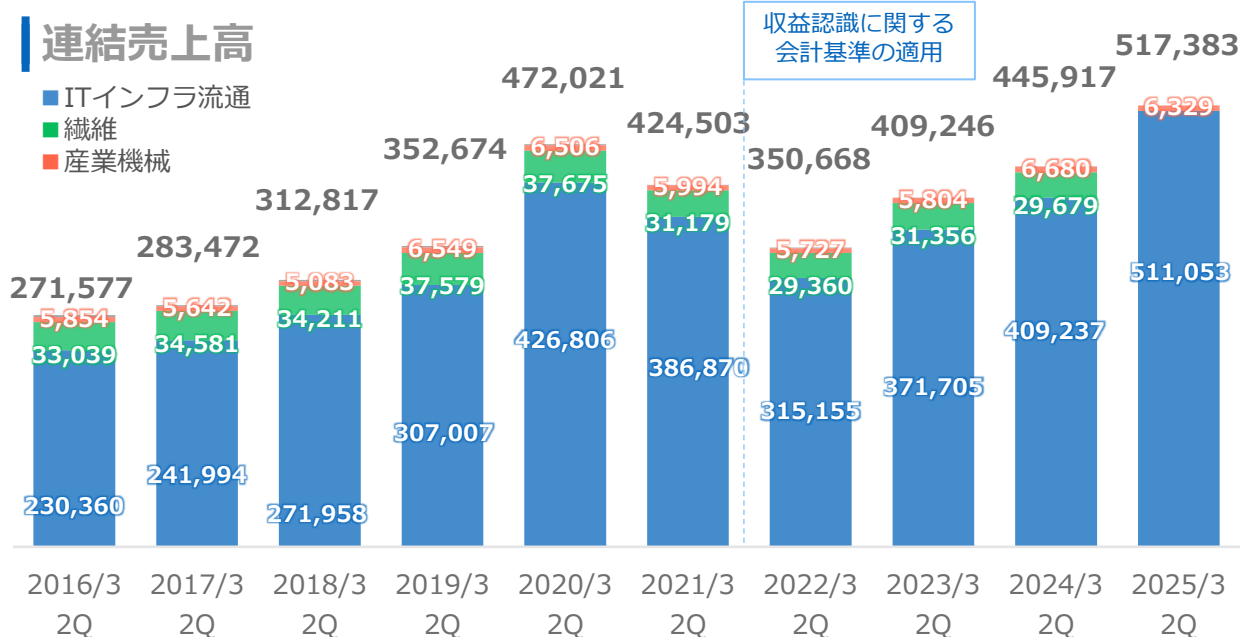
四半期別業績 推移

(百万円)

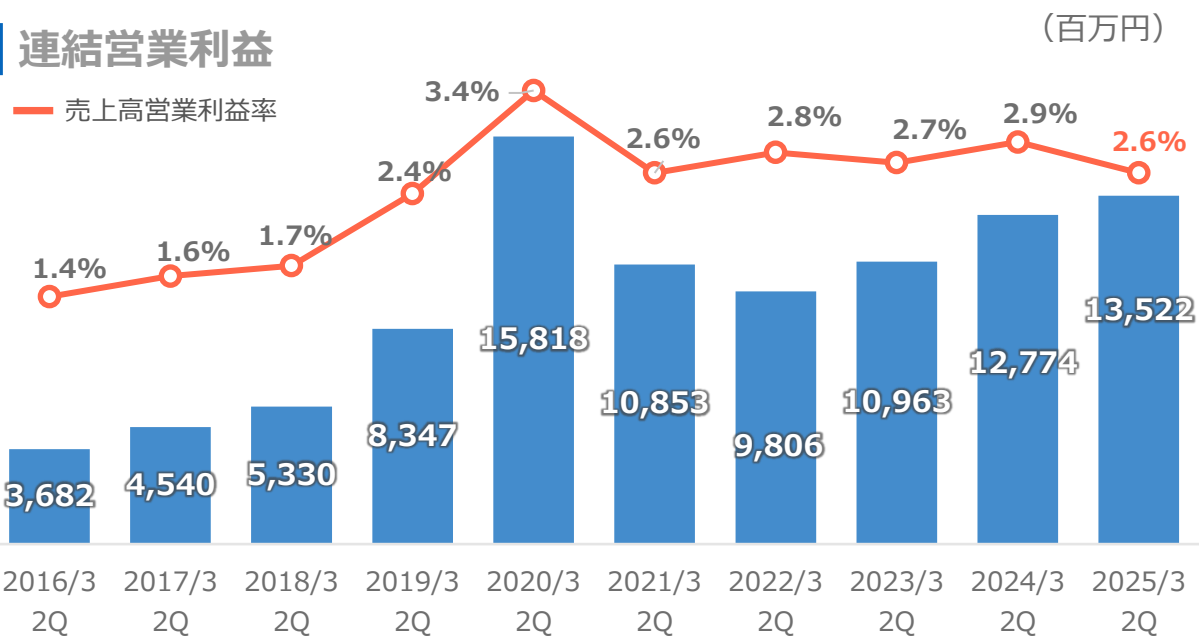


連結業績推移（2Q累計期間）

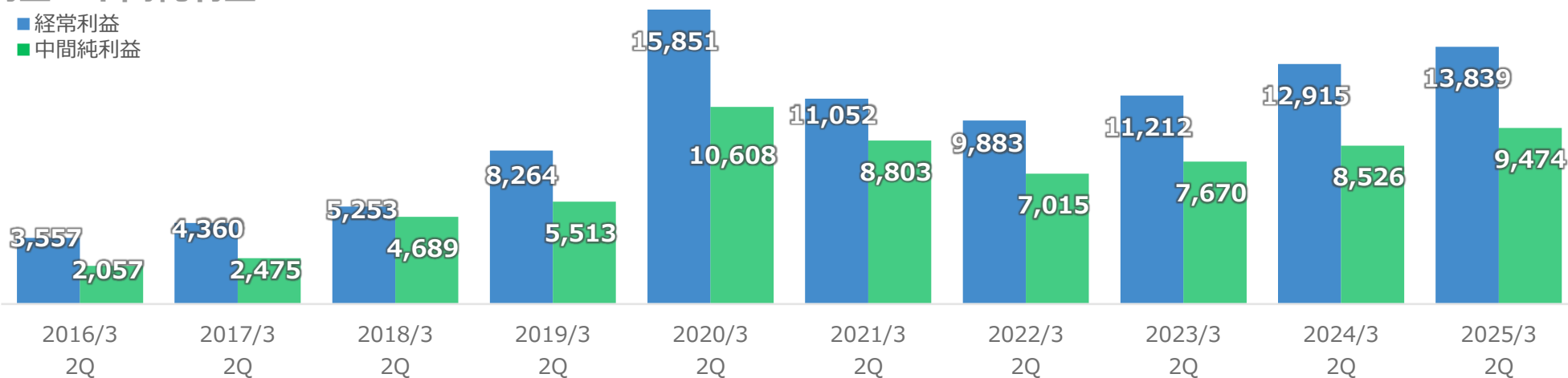
連結売上高



連結営業利益

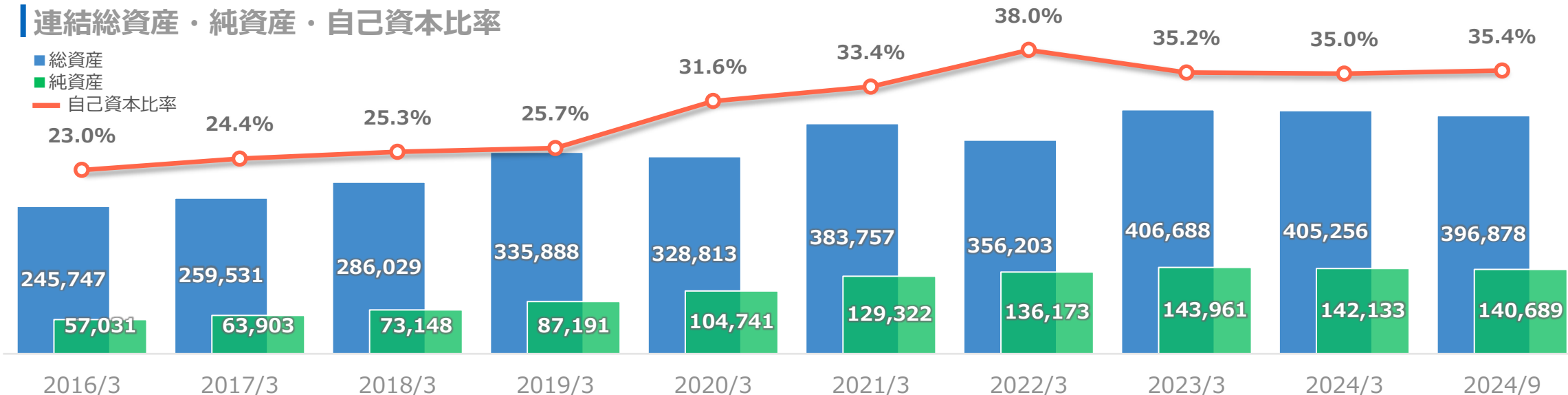


連結経常利益・中間純利益

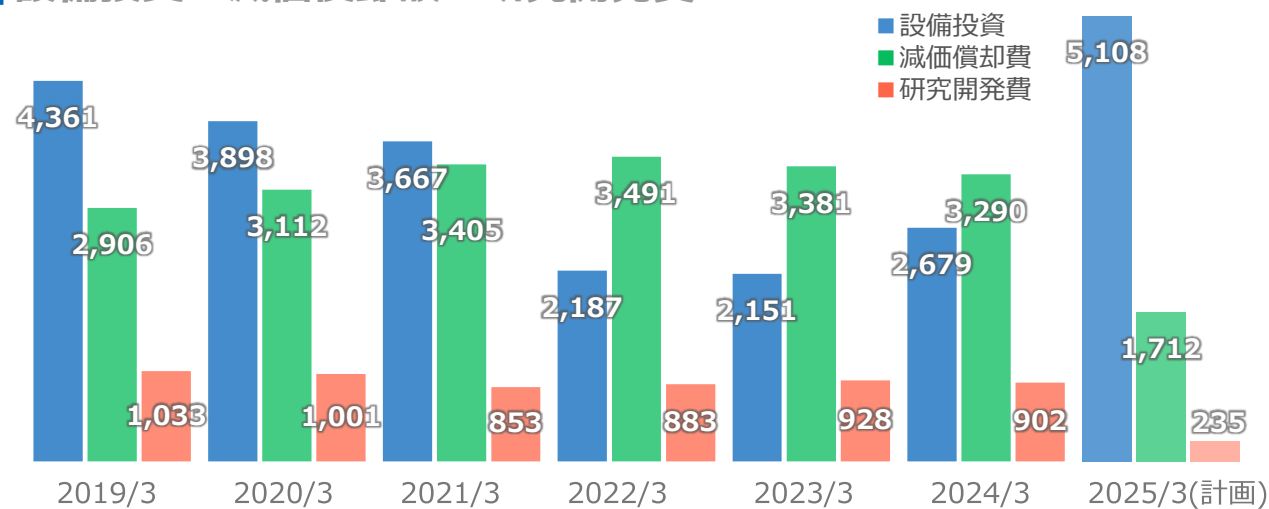


連結業績推移（2Q累計期間）

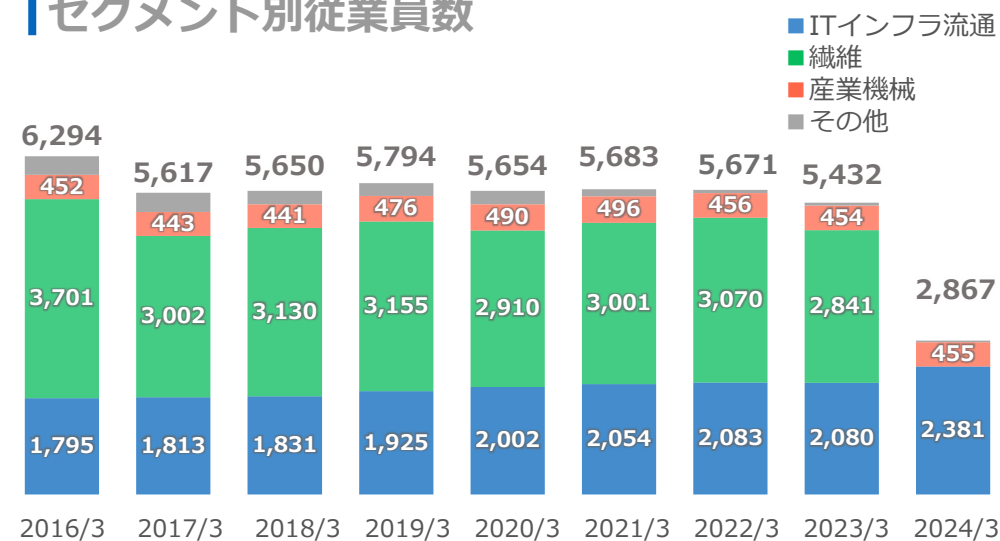
連結総資産・純資産・自己資本比率



設備投資・減価償却額・研究開発費



セグメント別従業員数

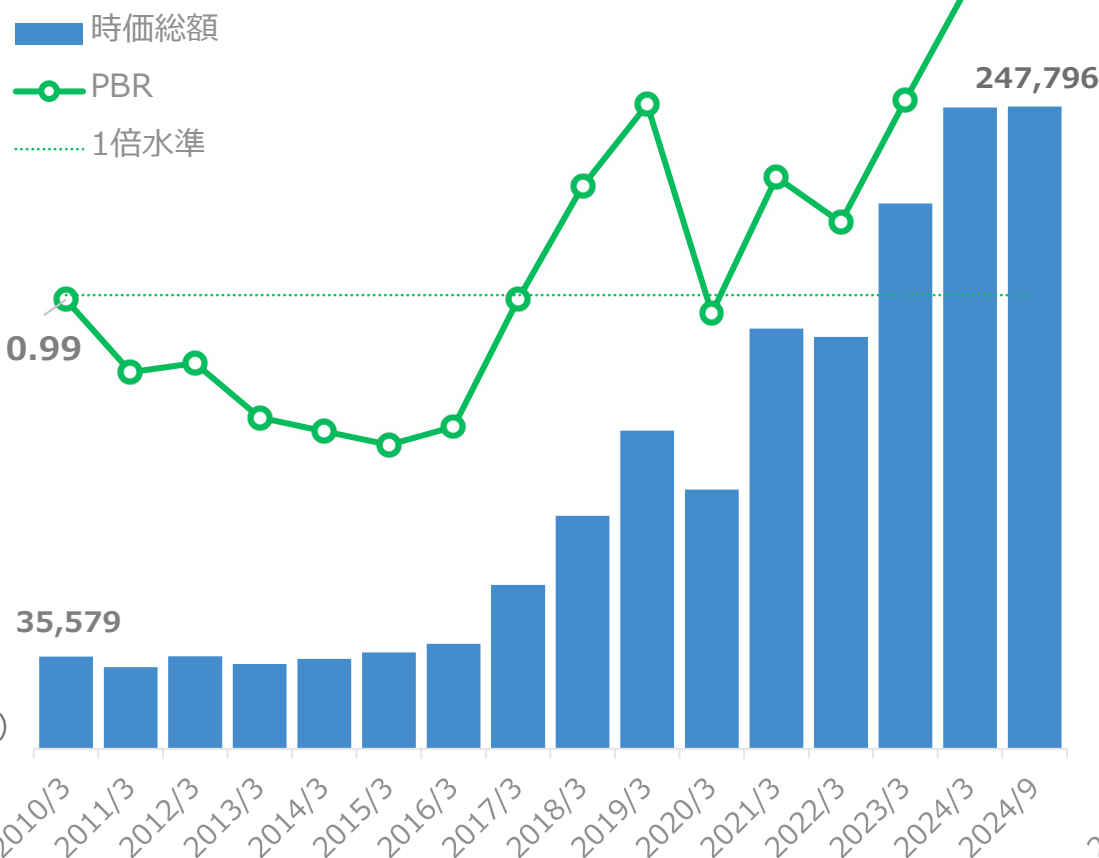


時価総額と株価推移

PBR 1.78倍

時価総額 247,796百万円

※2024/9終値ベース



相対株価 (月足・終値ベース)

■ ダイワボウHD

■ 日経平均株価



※当社株価は株式併合（2017/10/1）・株式分割（2021/4/1）を過年度に遡及して表示

<https://www.daiwabo-holdings.com/>



ダイワボウホールディングス株式会社

- 本資料に記載された業績予想値等の将来に関する記述は、現在入手可能な情報をもとに、当社が現時点で合理的であると判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因により本資料の内容と異なる可能性のあることをご承知おきください。
- 本資料中に記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。